

第11号様式の5 (第5条関係)

政務活動記録簿 (広報紙の発行・発送等)

会派・議員名 和田 恵治

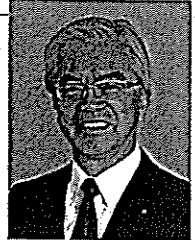
年 月 日	平成 30 年 4 月 27 日				
表題と発行部数	広報誌「和田恵治通信改題 24 号」22,000 部				
対象者	桜井市内				
配布方法	新聞折込、手渡し				
発行目的	奈良県及び桜井市の取組みの報告を行い、意見・要望を求める				
按分率の説明	按分率 50% 政務活動以外の記事が全体の 50%を占めるため				
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・政務活動費廃止の署名案内 ・H30.2 月県議会 代表質問 (観光振興、女性の社会的地位向上、学校教育の充実といじめ問題) ・H30 年 2 月 18 日県政報告会の内容 ・活動日誌 (1~3 月) 				
編集・制作・ 発送等に要した 経費	項目	支払先	金額	金額の積算	領収書番号
	印刷・折込	マキムク 印刷	305,800 円		4
		※ 50%充当 合計 305,800 円×50%=152,900 円			
備考	添付資料：広報誌「和田恵治通信改題 24 号」				

注 発行した広報紙を添付してください。

奈良県政務活動費を廃止へ!

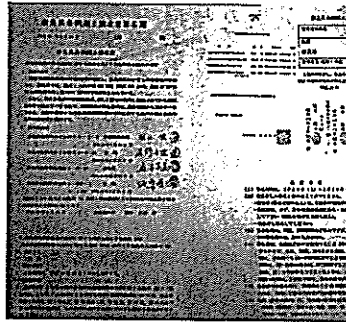
3月23日、条例制定の請求が告示され、創生奈良が取り組みを開始。年間1億5000万円(議員報酬12人と同額)の削減を目指す。県各地で署名活動を実施。2ヶ月で2万3000人以上が必要。

奈良県議会議員
和田 恵治



和田恵治事務所
〒633-0067
桜井市大福241-10 2F&3F
Tel&Fax 0744-43-0686
http://www.wada-keiji.com/
Facebookもチェック

全国で政務活動費の詐欺と不正使用が発覚。奈良でも。

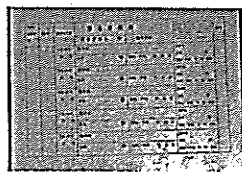


政務活動費を廃止するための請求が3月23日に行われた。

創生奈良の坂口保良議員が代表幹事を務める市民オンブズマン「見張り番・生駒」と生駒市民が3月23日、新井正吾知事に、県議に交付される政務活動費(政活費)を廃止する直接請求の申請を行い、告示されました。和田県議会議員が所属する創成奈良はこの取組みを開始し、直接請求に必要な2万3000人以上の署名活動

を県下各地で開始しています。

創生奈良に所属の県議会議員は県内でも署名活動を開始。桜井市でも近鉄、JR桜井駅に協力ください。



署名用紙

桜井市でも署名始まる! 問われるべき議員の良識

00万円が削減され教育や福祉の充実に寄与できるだけではなく、「政務活動費は県民のための政治活動に使われているのか?」という疑問や不信感をなくし、議員は議員報酬だけで活動するというスツクリした方法になります。

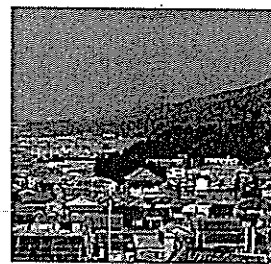
周辺や各中学校区の主要拠点を中心に政務活動費廃止条例制定の必要性を広く訴え、本県にも、県民が議員に求める良識を議会に反映させる取り組みに着手しました。

この日、川口正志創生奈良代表の奈良県庁を橿原市周辺に移転する動議を賛成多数で可決。今後、県庁を橿原市に移転する活動を活性化させ、中南地域

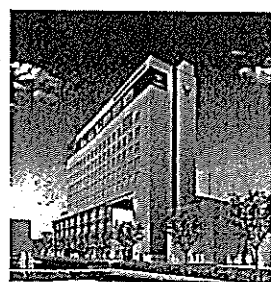
県庁を橿原市周辺に移転 — 2月県議会で議決 —

この日、川口正志創生奈良代表の奈良県庁を橿原市周辺に移転する動議を賛成多数で可決。今後、県庁を橿原市に移転する活動を活性化させ、中南地域

この日、川口正志創生奈良代表の奈良県庁を橿原市周辺に移転する動議を賛成多数で可決。今後、県庁を橿原市に移転する活動を活性化させ、中南地域



聖林寺から見たなだらかな大和青垣のすそ野



奈良県内でホテルの建設が進んでいる

政務活動費の廃止へ 桜井市内の署名のご協力とご案内

- ◆署名有効期日 2018年5月23日(水)まで
 - ◆署名用紙 奈良県議会議員 和田恵治事務所 に設置してある用紙に署名ください。
 - ◆地域 街頭での署名活動 地域、街頭や桜井駅などで署名活動をいたします。
- ※用紙は和田恵治事務所にご連絡頂きますと郵送いたします。

一般会計51067億円
特別会計3105億円
企業会計192億円
総計8364億円
奈良県の平成30年度予算を可決 2月定例会

平成30年2月定例会 代表質問

奈良県の観光振興・女性の社会的地位向上・学校教育の充実 とくに学校における生徒間のいじめ問題の解決について質問

奈良県の観光振興 インバウンド対策について

質問 和田

奈良県として奈良市内の観光資源の整備と活用について、どのように奈良市と連携・役割分担を行い、取り組んでいるのか、お聞かせ願いたい。

答弁 知事

奈良公園周辺や平城宮跡には、世界遺産を含む世界的にも一級品の観光資源が存在しており、奈良県観光のゲートウェイ。その魅力の向上は、県内の各市町村の周遊を広げ、奈良のブランド化を図る大きな見本となる地域。

今後、外国人観光客をはじめ、リピーターを増やしていくために、県と奈良市が協力して、多様なホテルの誘致を一層強化していくとともに、大規模コンベンション施設のオープンを見据えた国際会議や展示会などの誘致にも取り組むたい。また、オフシーズンを中心に、奈良公園周辺や平城宮跡において、質の高いイベントを充実させていく、といったものがある。

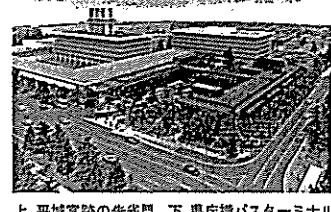
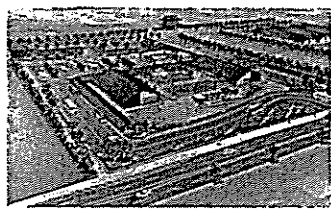
質問 和田

桜井市、橿原市、明日香村の2市1村を中心とした中部地域の観光地づくりのため、どのような取組を行っているのか。

答弁 知事

奈良県は、中部地域を含め、歴史の宝庫で全体として歴史博物館といった風情。その上で、観光地に誘客を図るためには地域のテーマが大事。どのような観光地なのか、すぐわかるようなブランド力が必要だ。

中和地域は、記紀・万葉プロジェクトが区切りを迎える2020年、日本書紀完成から1300年の年以降も、歴史文化を楽しむ体感できる、奈良県を盛り上げていくテーマを中心にテーマ性を考えていきたい。



上 平城宮跡の朱雀門、下 県庁横バスターミナル

質問 和田

全固にない奈良県でしか発信できない国の食施設、魅力ある宿泊施設などアメニティを充実させる必要がある。今後、N A F I C に新たにセミナーハウスを整備し、中部地域の観光拠点づくりとして拡充していく予定。J W マリオットホテルの進出をきっかけに、ホテルの投資先として奈良への注目度が最近向上してきている。

答弁 知事

また、県では、桜井市、橿原市、明日香村とそれぞれまちづくり連携協定を締結し、観光地らしさを高めるための取組を進めている。桜井市、橿原市、明日香村などは近接した地域であるので、共通の課題やテーマもある。3市村が連携して観光振興を進めるような取組も県として働きかけていきたい。



奈良県の新しい魅力が次々と創出される

女性の社会的地位向上 女性活躍の対策について

質問 和田

知事が標榜する「女性が光り輝く地域に」していくことや、人口減少や少子化をくいとめるには、シングルマザーへの支援をはじめ、女性支援施策を強化すべきではないかと考えるが、どのように取り組んでいくのか。

答弁 知事

とくに、女性の社会進出や賃金を含む働き方改革、労働環境の改革、そして「家事・育児と労働の両立」の実現に向け、男性に対するものも含めて、どのような対策を進めていくのか。

女性が就労により経済的に自立すること、生涯を通じ困窮することの無い暮らしの実現、また男女共同参画が、意識の改革の面でも必要だ。

シングルマザーへは、経済的や日常生活上の課題の解消を図る。また県では、2箇所の福祉事務所や奈良労働会館内に、ひとり親に対する就労や生活全般への相談や支援に取り組んでる。

質問 和田

昨年12月に「なら女性活躍推進倶楽部」を設立した。倶楽部の目標は、県内企業トップの意識改革と職場環境づくりに向けて努力してもらうこと、そして県が支援していく。また、女性の経済的自立やキャリア形成に関する啓発を図る。

答弁 知事

また、男性が子育てに参画できる環境を整えることも重要だ。女性が自身の能力を発揮して活躍できる奈良県を目指していきたい。

本県では、県庁職員が「男女を問わず、個々の事情に応じた働き方を選択し、公務においてその能力を最大限発揮」することを目指して、平成28年3月に、特定事業主である私、知事が、女性職員の活躍を推進するための5ヶ年間の行動計画を策定した。



女性の起業を応援するセミナーの様子

この計画では、女性管理職比率や男女の育児休業取得率などを数値目標として掲げており、女性管理職比率は、平成33年4月に課長級以上で10%、課長補佐級以上で15%が女性となるように目標を定めている。

現状、平成29年4月現在では、平成27年4月に比べて課長級以上で2.1ポイント、課長補佐級以上で0.5ポイント上昇した。それぞれ、課長級以上が目標10%に対して8.9%、課長補佐級以上が目標15%に対して11.1%になっている。

行動計画では、これらの数値目標の達成に向け、「制度や職場環境の整備」と「職員の意識及び組織風土の改革」を柱にしている。

学校教育の充実 学校と地域の連携について

和田

様々な教育課題の解決を図るためには、学校や教職員だけでは、地域と連携・協働・協働した学校づくりが大切と考えるが、県内における学校と地域との連携・協働の現状について示された。

また、地域との連携を今後より実効性の高いものとしていくため、どのように取り組んでいくのか、あわせて伺いたい。

【答弁】 教育長

県の教育振興大綱では、子どもの健やかな成長を促し自立した社会人に育てる観点から、地域ぐるみで教育課題に取り組む仕組みづくりの重要性を施策の目標に掲げている。

県教育委員会では、その仕組みづくりの一つとして「学校・地域パートナーシップ事業」を実施。学校と地域が互いの役割を認識しつつ、対等な協働の関係を築くことにより、地域全体で子どもたちの成長を支える取組を進めている。

この事業では、地域



学校教育の充実 子どものいじめ問題について

和田

一つめは、いじめが発生した場合に、なぜ「いじめ」が発生したのかという原因解明や「いじめ」の発生構造に関する調査・研究はこれまでにされたことがあるのか。現状について示された。

二つめに、いじめにかかわった子どもたちに対する指導については、その子どもたちの

【答弁】 教育長

昨年12月に文部科学省が取りまとめた「学校における働き方改革に関する緊急対策」を受け、県教育委員会として「教員の働き方改革」をどのように取り組んでいくのか。

教員の精神疾患による休職は、学校や児童生徒に多大な影響をもたらす。その原因は、教員の多忙化などもあるのではないかと。県内の公立学校における精神疾患で休職している教員の数とその割合や、県教育委員会のヘルス対策はどうなっているのか。

学校教育の充実 資質の向上が必要とされるが、どのように教員の資質向上に取り組んでいるのか。

和田

心理分析や家庭環境を考慮するなど、子どもに寄り添った指導が不可欠だと考えるが、具体的にとどのような指導が行われているのか。

三つめに、いじめの発見はもとより、一人一人の子どもの様子から課題を見だし、その解決に向けた取組が進められるよう、人権意識も含めた教職員の

【答弁】 教育長

わることが児童生徒との触れ合いに極めて重要と考えている。

そこで平成28年度からは「ストレスチェック」を全ての県立学校において実施し、高ストレスと判定された者については、本人からの申し出により医師による面接指導を受けることができる。

公立学校長等管理職が、ストレスを抱えている教員への対応や休職者の復職時の支援方法等を学ぶためのセミナーも毎年開催。

今年度は、早稲田大学と連携して、県立学校にカウンセラーを派遣。メンタルヘルス不調の予防段階での取組を実証研究している。

学校教育の充実 子どもたちをいじめに向かわせないためには、人権を基本とした人間関係を学校に根付かせることが大切。県教育委員会では、「人権教育の推進について」の基本方針や「人権教育推進プラン」に基づき人権教育の推進に努め、教員の初任からそれぞれに合った人権研修や個別具体の人権課題に即した研修体系の整備に努めている。

和田

教育長は「いじめは人権侵害である」と話された。まずは、そのことをはっきりさせる必要がある。いじめの側は、人権を侵害する加害者、いじめられる側は被害者である。

【意見】 和田

【観光振興の推進】
・文化資源活用補助金（記紀万葉シンボルイベント開催事業等）※30,000の内
・「記紀万葉プロジェクト」2020年準備事業 ※5,472

【奈良県と桜井市のまちづくり協関連事業】
・近鉄大福駅周辺地区拠点整備事業 ※133,914
・県道三輪山線関連 ※224,950の内
・無電柱化推進事業（三輪山線ほか）※217,750

【三輪そうめん等県内特産品のPRと販路拡大】
・海外展開促進支援事業 ※12,115
・国内販路拡大支援事業 ※3,800
・首都圏での「食」PR事業 ※27,940
・奈良の農産品海外販路拡大事業 ※8,561
・奈良県優良産品の発掘販路拡大プロジェクト事業 ※2,400

【学校教育の充実】
・部活動指導員配置促進事業（文科省の働き方改革緊急対策）※38,023
・教職員の働き方改革推進事業（教職員の働き方改革の実証研究）※8,600
・いじめ対策推進事業（いじめと不登校に関する実態調査）※12,457

【NAFICを核とした賑わいまちづくり事業】
・セミナーハウスの整備（造成工事等）※399,000

平成30年度桜井市関連の 奈良県の主な予算（単位=千円）

県政報告会開催 桜井立図書館 2月18日

—初当選からこれまでの活動を振り返る—



庵前通世さんが万葉歌碑の薫敏郎作品を披露

議員の支援者にこれまでの活動を詳しく報告し、原点を再確認



奈良県の発展と桜井市の まちづくり 産業と観光

2月18日、桜井市立図書館第一研修室で県政報告会を開催。産業廃棄物処理問題や桜井市地場産業衰退問題の取組み、桜井市の財政問題の取組みが議員立候補の原点であることを確認しました。

財政問題の取組みに關しては、奈良県と桜井市のまちづくり包括協定を締結して、奈良県の財政で桜井市の福祉やインフラを充実し、桜井市の歴史と文化に根差した魅力を掘り起こして、付加価値の高いブランドを持った地場産業、観光産業を育成していることを紹介。大神神社参道の整備など5か所のまちづくりの進捗状況を説明しました。

また、三輪山山麓で収穫した小麦で三輪素麺を作る取組みや、大和牛の振興、纏向遺跡の古墳群をつないで園の史跡公園化する取組みや、桜井市・明日香村・橿原市が連携して「記紀万葉のプロジェクト」を推進することが決まったことなどを詳しく紹介しました。

2月18日、桜井市立図書館第一研修室で県政報告会を開催。産業廃棄物処理問題や桜井市地場産業衰退問題の取組み、桜井市の財政問題の取組みが議員立候補の原点であることを確認しました。

財政問題の取組みに關しては、奈良県と桜井市のまちづくり包括協定を締結して、奈良県の財政で桜井市の福祉やインフラを充実し、桜井市の歴史と文化に根差した魅力を掘り起こして、付加価値の高いブランドを持った地場産業、観光産業を育成していることを紹介。大神神社参道の整備など5か所のまちづくりの進捗状況を説明しました。

また、三輪山山麓で収穫した小麦で三輪素麺を作る取組みや、大和牛の振興、纏向遺跡の古墳群をつないで園の史跡公園化する取組みや、桜井市・明日香村・橿原市が連携して「記紀万葉のプロジェクト」を推進することが決まったことなどを詳しく紹介しました。

2月18日、桜井市立図書館第一研修室で県政報告会を開催。産業廃棄物処理問題や桜井市地場産業衰退問題の取組み、桜井市の財政問題の取組みが議員立候補の原点であることを確認しました。

財政問題の取組みに關しては、奈良県と桜井市のまちづくり包括協定を締結して、奈良県の財政で桜井市の福祉やインフラを充実し、桜井市の歴史と文化に根差した魅力を掘り起こして、付加価値の高いブランドを持った地場産業、観光産業を育成していることを紹介。大神神社参道の整備など5か所のまちづくりの進捗状況を説明しました。

また、三輪山山麓で収穫した小麦で三輪素麺を作る取組みや、大和牛の振興、纏向遺跡の古墳群をつないで園の史跡公園化する取組みや、桜井市・明日香村・橿原市が連携して「記紀万葉のプロジェクト」を推進することが決まったことなどを詳しく紹介しました。

和田憲治の 議員活動日記(抄)

1月

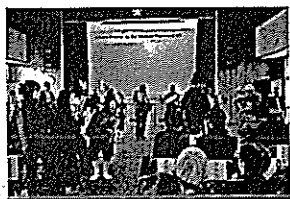
- 1日 大福古備区春日神社初詣行事 朝起き会
- 5日 桜井市消防団出初式 奈良区消防団新年会 安倍区消防団新年会
- 6日 解放同盟2018年新年祝賀会 奈良県建築労働協同組合桜井分会 奈良県建築労働組合三輪分会 社会
- 8日 2018年桜井市成人式
- 9日 連合奈良「2018年新春旗開き」
- 10日 私立労働組合奈良県連合会2018年旗開き 自治労奈良県本部2018年旗開き
- 12日 桜井市老人クラブ連合会 新年会 桜井市商工会 新年懇談会 桜井市母子家庭福祉百百合会 新年会
- 13日 桜井市軟式野球連盟新年会
- 15日 等福神社 初詣会
- 16日 連合情報連奈良県協議会 旗開き 県議会政策検討会議(政策ヒミナ) 障害者差別解消条例推進委員会 生活支援新年会
- 20日 二十日会役員新年会
- 21日 奈良県建築労働協同組合桜井支部 定期大会
- 22日 在日民団桜井支部 年賀交流会
- 23日 大福古備区・初詣大福大学交流会
- 25日 解放同盟桜井市旗開き 桜井市観光まちづくり協議会役員会
- 26日 三輪そらめい会議
- 27日 浄土真宗、解放同盟との懇談会
- 28日 大福古備水平社先輩を偲ぶ集い 玉列神社 かよど祭 三輪校区体協 新年会

2月

- 17日 中和宮福院周辺自治会連絡会
- 18日 和田憲治県政報告会
- 22日 県議会観光振興対策特別委員会 県議会開会(～3月23日)
- 23日 日本書道教育振興会新春書初大会
- 24日 三輪そらめい会議
- 25日 玉列神社 祈念祭
- 28日 三輪校区体協 新年会

3月

- 2日 県議会(和田代表質問)
- 25日 記紀万葉連続講座第3回(聖林寺)
- 30日 奈良県建築労働協同組合 桜井支部62期定期大会
- 解放同盟第1回執行委員会



アジア・アフリカの留学生と交流 桜井西ふれあいセンター 1月21日

桜井市大福に事務所を持つCNDPO法人CMMI三ヶヶリション研究会センターと大福自治会による、アジア・アフリカの留学生と地域の国際交流が桜井西ふれあいセンターで開催されました。県や市単位ではなく地域が主体となる国際交流がつついています。



桜井市で成人式 1月8日 市民会館で 594人を祝う

桜井市の新成人を祝う成人式が8日、市民会館で開催され来賓として出席。この日に新成人となったのは、男262人、女302人の計594人。成人は人生の節目であり、大事な未来への出発点となりますので、これからの人生をゆつくりと考えて、ほしいものです。



桜井市消防団出初式 市民会館 1月5日

桜井市消防団の出初式が1月5日、市民会館大ホールで開催され、来賓として出席。県内消防団のトップを切って開催。功績のあった隊員に、知事や市長などからの表彰状が贈られた後、大和川の堤防で消防ポンプ車による一斉放水などが行われました。



記紀万葉連続講座第3回 土舞台頭彰 大仏くらべ 聖林寺本堂 3月25日 桜井市観光まちづくり協議会

聖林寺本堂で3月25日、桜井市観光まちづくり協議会(京本勝弘会長)主催の記紀万葉連続講座第3回が開催され、同協議会理事として出席。

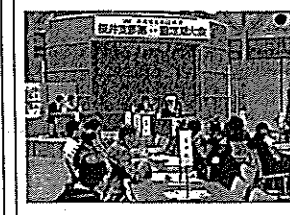
聖林寺の国宝十一面観音像取壊庫改修協力として狂言の大蔵流茂山千五郎家十四世当主の茂山千五郎師が、土舞台頭彰の大仏くらべ、狂言は室町時代の吉本新喜劇を講演・朗読しました。

80人が参加して茂山師の講演や新作狂言「大仏くらべ」の朗読を楽しみました。新潟県や関東地方からの参加者も、参加協力は全額、観音堂改修基金に寄進しました。



奈良県建築労働協同組合 桜井支部62期定期大会 1月21日

奈良県建築労働協同組合桜井支部の第62期定期大会が市立図書館で開催され、来賓として出席。建築組合は聖徳太子の「さしがね」に由来する太子講から発展。平成30年度の技能取得や納税などに取り組む活動方針等が承認されました。



奈良県建築労働協同組合 桜井支部62期定期大会 1月21日

奈良県建築労働協同組合桜井支部の第62期定期大会が市立図書館で開催され、来賓として出席。建築組合は聖徳太子の「さしがね」に由来する太子講から発展。平成30年度の技能取得や納税などに取り組む活動方針等が承認されました。

第11号様式の5 (第5条関係)

政務活動記録簿 (広報紙の発行・発送等)					
会派・議員名 和田 恵治					
年 月 日	平成30年8月31日				
表題と発行部数	広報誌「和田恵治通信改題25号」22,000部				
対象者	桜井市内				
配布方法	新聞折込、郵送、手渡し				
発行目的	奈良県及び桜井市の取組みの報告を行い、意見・要望を求める				
按分率の説明	按分率50% 政務活動以外の記事が全体の50%を占めるため				
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ H30.6月県議会 (県立高校の適正化、奈良県公共交通基本計画の実施状況報告、県営住宅桜井団地による大福地区まちづくりの活性化、公立学校の地震対策、新三輪そうめんプロジェクト、NAFICを核とした賑わいプロジェクト等) ・ H30.9.9県政報告会開催のご案内 ・ 活動日誌 (4月~6月) 				
編集・制作・ 発送等に要した 経費	項目	支払先	金額	金額の積算	領収書番号
	印刷・折込	マキムク印刷	305,800円	22,000部発行	30
	郵送料	桜井郵便局	136,080	1,944通	39
		※ 50%充当 合計 441,880×50%=220,940円			
備考	添付資料：広報誌「和田恵治通信改題25号」				

注 発行した広報紙を添付してください。

県立高校の適正化等6月議会

奈良県議会の6月定例会は、「県立高等学校適正化実施計画の策定について」や「旅館業法施行条例の一部を改正する条例」など12議案を審議し、報告20議案と平成29年度の報告2議案を承認しました。

奈良県議会議員
和田 恵治



和田恵治事務所
〒633-0067
桜井市大福241-10 2F&3F
Tel&Fax 0744-43-0686
http://www.wada-keiji.com/
Facebookもチェック

県立高等学校の適正化 新設を含めて20校対象

県教育委員会は県立高校の統合、新設、移転を決定し6月定例会で審議しました。

基本的な考えは、「少子高齢化やAI、IoTなどの進展等子どもたちは社会の変化に主体的に向き合い、関わり合い、自ら人生を創出することが求められている。2018年4月に改訂される高等学校学習指導要領も踏まえて、魅力と活力あるこれからの高校づくりを推進する方針として策定」であり、社会や地域とつながる教育の推進、教育内容や校名の見直しも行われました。

見直しは以下の通り。西の京高校・平城高校・登美ヶ丘高校を統合し、(仮称)県立国際高校・(仮称)奈良

県立国際高校と吉野高校

プロフィール

- 1949年3月 桜井市大福に生まれる
- 1967年3月 奈良商工高等学校卒業
- 1971年3月 天理大学外国語学部卒業
- 1979年4月 桜井市議会議員(初)
- 2011年4月 奈良県議会議員(初)
- (一財)奈良人権・部落解放研究所 理事
- (一社)ちるわしの桜井をつくる会 常任理事
- (一社)桜井市観光協会 常任理事
- NPO法人コミュニケーション研究センター理事
- NPO法人桜井菜の花プロジェクト 役員
- NPO 法人奈良県生活福祉支援協会副理事長
- 県議会関係 経済労働委員会委員長(2回目)

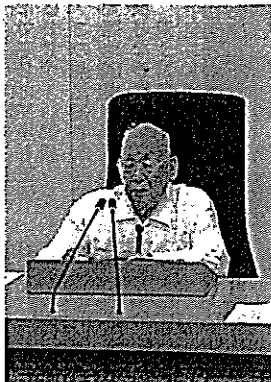
和田恵治県政報告会
桜井市立図書館大ホール
日時：9月9日(日)
14時～15時30分

- 豊かな市民生活
- 中和幹線の開発と暮らし
- 歴史文化を活かした暮らし
- 桜井市の災害防止
- 子育て、教育の充実

観光振興対策特別委員長報告
6月定例会で、昨年7月の設置以来、観光振興対策特別委員会がこれまで行った調査と審査の経過を委員長として報告しました。

さらに、①園のはじまりの地である奈良の魅力の体感と発信に取り組む地域振興につながる。②オフ期に、より魅力的で安全・安心なイベントを。③宿泊キャパシティの向上と住民理解及び奈良市以外へ発展。の3項目を要望しました。

川口正志創生奈良代表 県議会議長に就任最多



現職の奈良県議会議員では最多の3回目の議長に就任

県議会は7月3日、正副議長選挙を行い、議長に創成奈良代表の川口正志氏を、副議長に自民党奈良の奥山博康氏を選出しました。

川口氏は県議会議員を10期務めているベテランで、議長就任は3回目。現職の奈良県議会議員の中で最多。奈良テレビ等のメディアで語った抱負では、「県の北部と南部のバランスをとりつつ、県全体が発展できるような議会として機能を果たしていききたい」と語っています。

2月定例会では、奈良県庁を県の中心部の橿原市周辺に移転して、県の持続的発展の起爆剤にすべきとして、動議を提出。可決されました。

現在の奈良県庁は1965年に竣工。「奈良公園の入り口に位置し、東大寺や春日大社などの観光拠点にあたり、ホテルなどに建て替えるべき」と川口氏は語っています。

和田恵治は経済労働 委員会委員長に就任



岐阜県などへの経済労働委員会県外調査
経済と労働問題はこれまでの取り組みから力を発揮します。

6月定例会で常設委員会委員長と副委員長の人選や特別委員会の設置と人選が行われ、2回目の経済労働委員会委員長に就任しました。

2017年6月から観光振興対策特別委員会委員長を務めてきましたが、今年の6月からは常設の委員会、経済労働委員会委員長として県の労働環境の改善や奈良県の経済の活性化に尽力します。

経済労働委員会委員

平成29年度奈良県公共交通基本計画に基づく施策の実施状況報告

6月定例会で県は公共交通基本計画に基づく施策の実施状況を報告。公共交通機関が利用しやすいことへの重要性と満足度の県民アンケート推移を公表。過疎化が進んでいる地域は満足度が下がることが分かりました。

人口減が続く南部では重要度はより大きくなり、逆に満足度は下がります。推移のグラフ全体から分かることは、重要度は県内のどの地域に住んでも大きな違いはありませんが、公共交通の便数が少ない、南部の広いエリア、特に過疎地域であれば低くなります。早急に根本的な解決が必要です。



公共交通機関が利用しやすいことへの重要度、満足度の推移

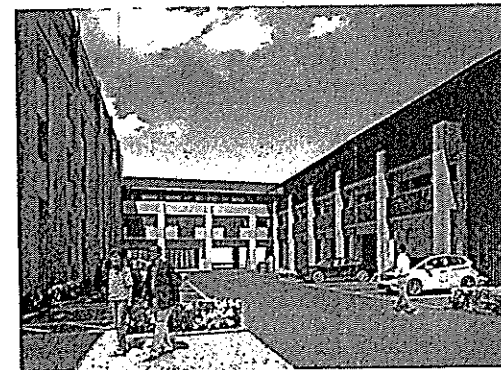
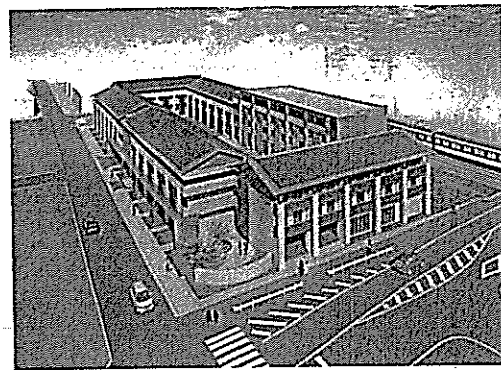
県営住宅桜井団地の完成イメージ 近鉄大福駅北側地域の活性化を!

県と桜井市が共同で行う近鉄大福地区まちづくり協定に基づいて実施されている県営住宅桜井団地の建て替えが順調に進み、完成イメージパースが公開されました(写真3枚)。

建物は鉄筋コンクリート造り3階建てで、落ち着いた外装の瓦葺き。一戸建て建設の開発が進んでいる周田の環境にマッチした配慮がなされており、駐車場は建物に囲まれた内部に配置されています。

間取りは、第一期の80戸については2DK、1LDKの単身者及び2人世帯用の40㎡が60戸、3人以上を対象にする3DL、2LDKのファミリー向け70㎡が20戸つくられます。棟にはエレベーターも設置。室内はパリアフリー化され、3カ所給湯、風呂を設置。超高齢化社会や障害者を考慮に入れ、全体計画では車椅子生活に対応した部屋も整備します。

この県営住宅は近鉄大福地区まちづくりの核となる施設です。



新しく建設される県営住宅桜井団地のイメージ

公立学校等のブロック塀を調査 地震による倒壊防止対策を実施

6月18日に発生した大阪府北部地震で高槻市の小学校でブロック塀が倒壊し、女子児童が亡くなったという事故が発生したことから、県防災統括室は学校のブロック塀の安全点検と、県有施設、社会福祉施設等・公立病院のブロック塀の安全調査の結果を把握。7月18日時点で速やかな対応が可能なものについて撤去し、フェンス等を設置することを県総務部長と県危機管理監が連名で職員に説明を行いました。

総予算は2億円で、学校施設では奈良朱雀高校、奈良高校など19施設。県有施設は高畑菩提駐車場、旧園立高専宿舍敷地など12施設。警察施設は生駒警察署、郡山警察署など21施設。

7月2日時点で緊急対応が必要とされていたのは、桜井高校、大淀高校、旧奈良工業高校跡地、外国人観光交流館で4640万円を予備費から計上。今回、これに追加されました。

奈良県産小麦の三輪素麺で質問

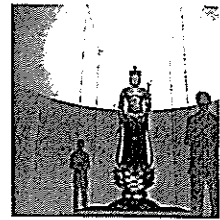
6月定例会の期間内に開催された経済労働委員会、桜井市内で開発中の奈良県産小麦を使用した新三輪素麺について、①奈良県産小麦を何%使用したら奈良県産小麦の素麺と言えるのか②奈良県で栽培されている小麦の「ふくはるか」以外に素麺に使用する小麦の新しい品種を導入する考えはないか③もっと広報に力を入れるべきではないか④小麦の農業振興のためには、県独自の補助金が必要ではないかを質問。

新三輪素麺プロジェクトを 毎日新聞が掲載 6月20日

奈良県産小麦で製造し、高付加価値のブランド化を進めている新三輪素麺プロジェクトを毎日新聞が奈良県版で掲載しました。

同プロジェクトの、農水省の産地を表わす地理的表示GI取得に向けた農業者の取り組みと、県三輪素麺工業協同組合での試作結果。さらに、産学連携により帝塚山大学や奈良女子大学の食プロ

国宝十一面観音菩薩 収蔵庫改修 聖林寺



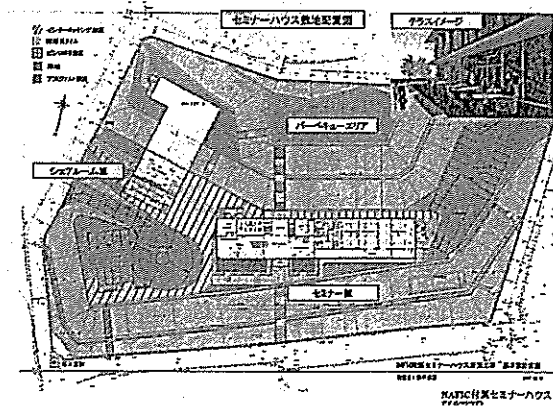
聖林寺は国宝十一面観音菩薩像の収蔵庫の改修(仮称・聖林寺観音堂整備計画)を実施します。耐震や温湿度等の調査と基本計画、基本設計、実施設計と

進められ、国宝の仏像を移動して保管。平成33年度の完成を目指します。

近年、世界中で地震や風水害の自然災害が多発しており、今のま

NAFICを核とした賑わいプロジェクト H29年補正4億円、H30年予算2千万円

NAFICで新しく建てられるセミナーハウスなど



果は、なら食と農の魅力創造国際大学校(NAFIC)とオーベルジュの機能や立地を活かし、新たにセミナーハウス等を建設。奈良県の食と農の魅力を全国に発信するとともに地域の活性化を図ります。

平成29年度予算補正として3億9900万円を計上。平成30年度は周辺整備予算2000万円を計上。平成32年度にオープン予定。

新たに建設するセミナーハウスでは県内外のプロ料理人のコンテストや食と農に関するセミナーの開催、県内の農業体験や奈良県の歴史や文化にふれる催しを実施します。

また県では「農業体験と歴史散策」などの農に関係した企画を広く呼び掛け利用の促進を図ります。

宿泊施設としては学生用のシェアルーム(学生2000円、一般5000円)とゲストルーム(一室2500円)最大4名)があり、NAFICが主催するプロシェフ向けの短期研修の他に、耕作放棄地などを活用して年間を通じた農業体験を提供する家族向けプログラムや、小中学生向けの農村体験プログラムなどに活用。

県内産小麦100%三輪素麺

開発プロジェクト

奈良県産小麦100%の三輪素麺の開発プロジェクトが、毎日新聞の奈良県版に掲載されました。

このプロジェクトは、県内産小麦100%の三輪素麺を開発し、ブランド化を進めることを目的としています。

プロジェクトのリーダーは、奈良県三輪素麺工業協同組合の代表者です。

この素麺は、県内産小麦100%で製造されており、高付加価値のブランド化を進めています。

毎日新聞の奈良県版は、このプロジェクトの取り組みを詳しく取り上げています。

新三輪素麺プロジェクトの取り組みが毎日新聞で掲載されました。

政務活動費廃止の署名
ありがとうございます。

1カ月で桜井市の有効署名数は約1100名

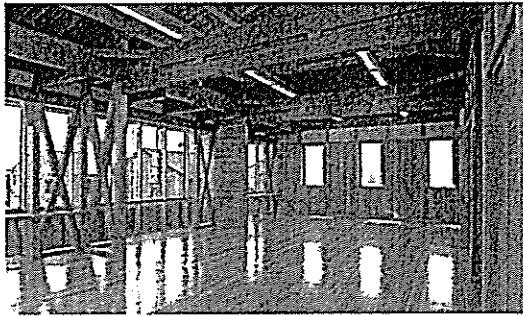
創生奈良の取組みとして
9月定例会に
廃止を提案します。

議員のモラルと品格は
政務活動費の廃止から!



桜井木材協同組合 創立70周年 組合会館竣工

あるぼ〜るで記念式典 5月22日



**木材の町「桜井」から発信
木造建築のすばらしさ!**

5月22日、桜井木材協同組合(谷奥忠副理事長)の創立70周年記念と同組合の新会館が桜井市栗殿の「あるぼ〜る」横に竣工したことを記念する式典が開催され、来賓として出席しました。

桜井市は木材の町として全国に有名ですが、この度、熊本大震災級の地震にも耐えられる耐震構造を備えた木材建築の会館が竣工。日本の風土にあった木材の良さが見直されており、今後の発展が期待されています。

2000年以降、住宅の着工件数が減少し、木材業界は厳しい環境が続いています。桜井市でも市立図書館や学校、金融機関などの木質化が進んでおり、奈良県庁をはじめ公的施設も吉野材などを積極的に取り入れていきます。全国でもインバウンド対策として木材建築が注目を集めています。

式典で谷奥理事長は「会員相互の団結を図り、地域の発展に貢献したい」と挨拶。

5月22日、桜井木材協同組合(谷奥忠副理事長)の創立70周年記念と同組合の新会館が桜井市栗殿の「あるぼ〜る」横に竣工したことを記念する式典が開催され、来賓として出席しました。

桜井市は木材の町として全国に有名ですが、この度、熊本大震災級の地震にも耐えられる耐震構造を備えた木材建築の会館が竣工。日本の風土にあった木材の良さが見直されており、今後の発展が期待されています。

2000年以降、住宅の着工件数が減少し、木材業界は厳しい環境が続いています。桜井市でも市立図書館や学校、金融機関などの木質化が進んでおり、奈良県庁をはじめ公的施設も吉野材などを積極的に取り入れていきます。全国でもインバウンド対策として木材建築が注目を集めています。

式典で谷奥理事長は「会員相互の団結を図り、地域の発展に貢献したい」と挨拶。

和田恵治の 議員活動日誌

4 月

- 5日 飛鳥学園入学式
- 7日 第9回菜の花まつり
- 10日 関西中央高等学校入学式
- 12日 桜井市護国神社
- 13日 国際交流「やまと」入学式
- 15日 巻向自主防災会総会
- 16日 和田後援会お花見会
- 20日 桜井市老人クラブ連合会総会
- 21日 奈良県立美術館特別展開式
- 22日 やまとたちばなの里 1000本植樹祭
- 26日 部活解放企業連合会創立50周年 代議員総会
- 27日 障害者差別をなくす条例推進委員会 県連再建60周年、企業連創立50周年 中企連創立45周年記念集会
- 28日 メニエー奈良地方大会

5 月

- 6日 和田後援会 日帰り旅行
- 新生奈良研究会講演会
- 奈良県民会議 総会
- こふれ21 総会
- 13日 桜井市母子養育白百合会総会
- 14日 経済労働委員会 県内調査
- 16日 コミュニケーション研究会27総会
- 19日 奈良県精神障害者支援連合会総会
- 22日 聴覚者通訳監査委員会
- 桜井図書館友の会総会
- 桜井木材協同組合創立70周年記念式典 及び組合会館新築竣工祝賀会
- 24日 桜井市遺族会総会
- 25日 桜井市手をつなぐ育成会総会
- 27日 文化を考える桜井市長の会
- 29日 奈良弁護士会講演会
- 31日 部活解放同盟大福吉備支部定期大会

6 月

- 1日 県手をつなぐ育成会総会
- 3日 桜井会発表会
- 9日 NPO 菜の花プロジェクト
- 10日 奈良県通達定期総会
- 15日 観光振興対策特別委員会
- 16日 鹿野岡町自治会連合会
- 18日 新三輪そうめんプロジェクト会議
- 22日 県議会開会(〜7月3日)
- 森のようちえん
- 25日 私鉄労働組合総会
- 27日 桜井市観光まちづくり協議会総会
- 29日 経済労働委員会



たちばなの里 復活宣言 穴師かむなびの郷 寺澤薫 郷向学研究所長 記念講演も 4月22日

桜井市穴師の農業生産法人穴師かむなびの郷は、穴師地域に大和たちばなの1000本の植樹を記念して「たちばなの里復活宣言」を行い、来賓として出席しました。

穴師地区の自治会長植田博史さんと丁度1000本目を記念植樹。垂仁天皇の時代に田道間守が常世の園から不老不死の「とぎし」のかぐのこのみを持ち帰り、これが大和たちばなで、菓子の起源。

寺澤薫郷向学研究所長は郷向遺跡の東の端で、重要な地域であることや、万葉集を含めた広い分野から穴師地域について講演しました。



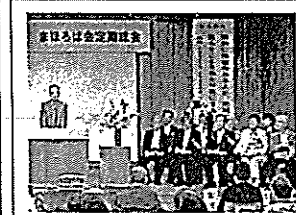
中津道自治会 囲碁会 同自治会館で4月21日

桜井市大福の中津道自治会館で同自治会の文化活動の一つである囲碁会が開催されました。自治会員だけでなく近隣からも参加があり、勝負にこだわらないで親睦を深める会ながら、実力者も多く、和気あいあいと囲碁談義が進みました。



新三輪素麺プロジェクト会議 素麺組合会館 6月18日

奈良県産小麦の新三輪素麺を開発し、三輪素麺業界全体の活性化を目指しているプロジェクト会議が県三輪素麺工業協同組合会館で開かれ、提唱者として出席。産学連携の成果披露や今後の方針について議論し来年度に製品販売を目指します。



まほろば会第26回総会 県文館小ホール 5月19日

県精神障害者家族会連合会・まほろば会の26回総会が開催され、来賓として出席。2017年の活動報告と2018年の活動方針承認に続いて「精神に障害のある人が、地域で暮らすことを当たり前とするために」のテーマで三田優子大阪府立大准教授が講演。



高山市の國島芳明市長が講演 新生奈良研究会 5月8日

奈良日日新聞社の新生奈良研究会で岐阜県高山市の國島芳明市長が同市の観光客誘致の取り組みを講演。インバウンド対策として早くから海外への直接PRを開始し、香港とパリに市職員を派遣。観光プロモーションの他、地元物産も販売していることを紹介。

第11号様式の5 (第5条関係)

政務活動記録簿 (広報紙の発行・発送等)					
会派・議員名 和田 恵治					
年 月 日	平成 30 年 9 月 7 日				
表題と発行部数	広報誌「ニューズレター4号」2,500部発行				
対象者	桜井市内				
配布方法	個別郵送、手渡し				
発行目的	奈良県及び桜井市の取組みの報告を行い、意見・要望を求める				
按分率の説明	按分率 50% 政務活動以外の記事が全体の 50%を占めるため				
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・地元桜井 三輪そうめんの振興策として、三輪山の麓で栽培した小麦を使用した新そうめん「INOR」(いのり)を商品化した。 ・これまでに開拓した販路の確定や最高級ブランドとしての販売、高付加価値の製品に相応しい広報やイベントの実施をしています。 				
編集・制作・ 発送等に要した 経費	項目	支払先	金額	金額の積算	領収書番号
	印刷	プリント パック	15,040 円	2,500 部	36
	※ 50%充当 合計 15,040 円×50%=7,520 円				
備考	添付資料：広報誌「ニューズレター4号」				

注 発行した広報紙を添付してください。

県政
詳報

桜井市の最前線

市民の皆様への NEWS LETTER
奈良県県政における最前線の取り組みを
レポートします。

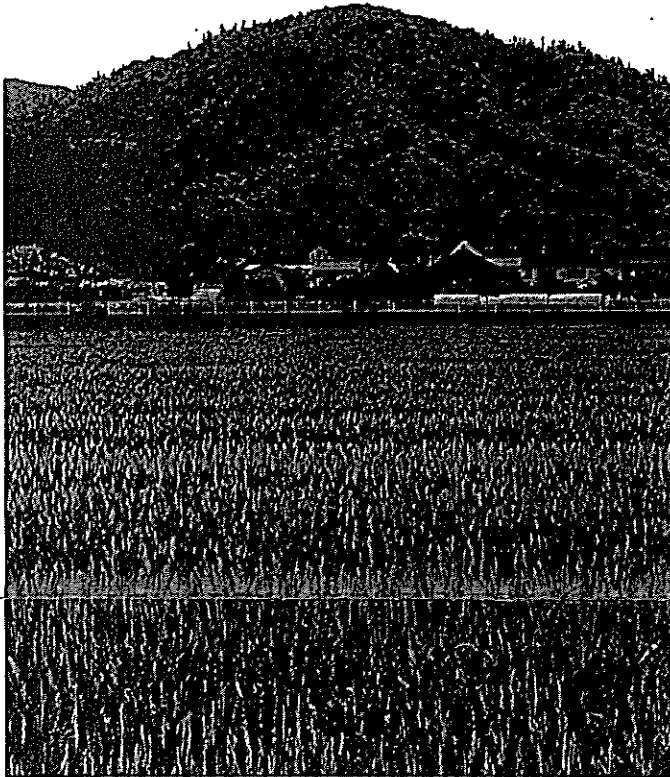
奈良県議会議員 和田恵治 〒633-0067 奈良県桜井市大福 241-10 2F(和田恵治事務所)

小麦栽培に成功 タンパク質 12.77%

神の山、三輪山のほとりで高ブランド化の三輪素麺が復活。業界を牽引

INORIは日本の心そのもの

I
N
I N O R I
R
I



奈良県三輪素麺工業協同組合は、この新しい小麦で作る三輪そうめんを「INORI」（いのり）と命名。神の山である三輪山や三輪山から流れる川、小麦がとれる土地、小麦を栽培する農家、三輪そうめんを食べてくれる人々、1200年間も続いている手延べそうめん製造技術と生産者、小麦粉にしてくれる製粉業者、プロジェクトを支援している大神神社、帝塚山大学、奈良女子大学奈良の食プロジェクト、奈良県や桜井市行政、農協をはじめとする農業技術指導者、県ゆかりの大企業、マスコミ、~~すべての人々の~~結集として誕生した三輪そうめんという意味を含めました。

三輪山 神 火 小麦 労働 生産者 食卓
消費者 農業 土 雨 水 火 風 塩 感謝

TPP問題から日本の農業を救う
地元の三輪そうめんの振興策を！

アメリカ主導のTPP締結問題が盛んに議論された時期には、日本の農業は壊滅状態に陥るといふシミュレーションがなされ、遺伝子組み換え食品の流入や毒性の強い農薬散布の食品の流入などで、日本の伝統に培った安全安心の農産物が危機にさらされていました。

そこで奈良県の名産であり桜井市の地場産業である三輪そうめんを桜井産、奈良県産の小麦で作り、安心安全なうえ地元の小麦で作る高付加価値の製品を作ることにより、農業もそうめん製造者もそうめん販売業者もすべての事業が成り立つ方法を模索。

これには品質がよいということがもちろん基本になるが、三輪そうめんは日本最古の神社の大神神社の宮司が1200年前に、三輪山の神の啓示を受けて地元の農民が作りはじめた伝承があり、そうめん発祥の地。また、三輪は古事記や日本書紀の崇神天皇の時代に多くの物語が残されており、日本神話、日本文化の源流と三輪そうめんがマッチすることなどから、高級路線での販売により、桜井市の地元の農工商が連携して取り組みれば成功すると判断。

大神神社や帝塚山大学、奈良女子大学奈良の食プロジェクト等にも協力を呼び掛けて、小麦栽培とあわせてブランド化を進めました。

古来、神の山と崇敬されている三輪山のほとりで栽培されている小麦。三輪山に降った優しい雨が山肌を伝って流れてくる地域で新しい三輪そうめんの小麦が栽培されている。

なら農工商連携ファンド事業で推進している、桜井市の三輪山のふもとで栽培した小麦を使用した三輪そうめんの開発プロジェクトが大きく前進しました。

三輪そうめんを作るのに必要な小麦のタンパク質含量が小麦粉の段階で10%以上、製品になった段階で9.5%以上必要であり、近年栽培している小麦では不可能と言われ、戦後はずっと奈良県産以外の小麦で三輪そうめんは製造されてきましたが、桜井市の農事組合法人アグリ大泉、農事組合法人芝土地利用組合の取り組みで、今年6月に収穫した小麦の原麦が、12.77%のタンパク質を計測。小麦粉にした場合に三輪そうめんの基準の10%を大幅に上回ることが確実になりました。

この成功を受けて、奈良県三輪素麺工業協同組合では、三輪そうめんの発祥の原点、大神神社の神の山、三輪山に降った雨が山肌を伝って流れてくる大三輪地域で栽培した小麦で、三輪そうめんの中の三輪そうめんと言える最高級の製品を作り、平成31年の夏商戦に向けて製品化する動きを本格化。なら農工商連携ファンド事業で高級路線での完売ルート開発や、高級ブランド化への取り組みなど2年間の蓄積を活かして、平成30年度事業では、これまでに開拓した販路の確定や最高級ブランドとしての販売、広報やイベントなど高付加価値の製品に相応しい内容を実施していきます。

この取り組みは7年前から

三輪そうめんの著しい衰退により、県行政でも復興の話し合いがもたれるなど、いろいろな取り組みがあり製造、販売、金融など進められていましたが、アメリカ主導のTPPにより食の安全が脅かされているにもかかわらず、小麦を栽培する農業者がメンバーに入っていないし、安全な食料を確保するという国民生活に最も重要な視点が抜けていました。

そこで農業者を含めた三輪そうめんの振興政策として、奈良県産小麦 100%による新しい三輪そうめんを製造して、高ブランド化を行い、農業者、製造者、販売業者の全員が潤い、消費者も本当に良いものを食べられるし奈良県の農業振興と経済の活性化になる、このプロジェクトを立ち上げました。

そうめんを使用する三輪産小麦の生産が、不可能と思われた上に、高ブランド化には、これまでのそうめんを販売する方法とは異なったアプローチが必要で、奈良県三輪素麺販売協議会はプロジェクトへの参加をしておりません。

三輪山のほどりで栽培する小麦はわずか10トンから20トンの収穫量しかなく、プロジェクトの趣旨は、三輪そうめん

の持つ、物語性や麺文化のルーツとしての三輪そうめん、日本文化の語り部としての三輪そうめんを全国にアピールし、三輪そうめん全体の需要の拡大と底上げを図るものです。すでに、奈良県にルーツを持つ大企業の森トラストや大和ハウス工業が協力を約束してくれているし、外務省や大手商社系の食品部門がプロジェクトに協力していることから、近い将来には、日本とEPAを締結したEUやアジア各国への輸出も視野に入ってきました。増産が必要です。

奈良県議会議員 和田恵治の思い

食べ物が遺伝子組み換えではないことはもちろん、農薬を散布している場合でも安全基準が守られている必要があります。外国産の食料品の場合は、基準が守られていない場合があります。消費者が安心して食べることができるのは、国産、県産、地域の顔の見える産品です。アメリカのグローバル企業が提唱するTPPから日本の農業と安全な食品を守る必要性があり、この新三輪そうめんプロジェクトに取り組みました。高ブランド化と合わせて農業の発展にも尽力いたします。

和田恵治 わたしの5つの政治の実践

県議会は県民主体の無党派で

国のあり方をどのように考え改革していくかは、重要な課題ですが、地方政治は政党の方針やイデオロギーに縛られることなく、県全体の生活の向上や教育、福祉の向上を図る必要があります。

政務活動費の廃止に取り組んでいますが、なかなか廃止にまで進みません。私自身は現在、政務活動費を適切に使用しています。廃止を勧めるのになぜ使用するのか？行動に矛盾がないか、と指摘する方もいますが、適正に使用できる活動費がある以上、使用しないと活動が制限されますので、使用しています。今は、政務活動費を使用しながら活動することによって、障害者の福祉の充実、条例制定、小規模企業振興条例制定、教育の充実などの活動をしており、政務活動費を使用しないと大幅に活動内容が減少してしまいます。

政務活動費は適正に使用する議員には必要なのですが、適正に使用しない議員がいる以上、廃止が望ましいのです。強いモラルが求められるのです。今後も廃止を進めていきます。

食を提供する料理人の育成をはじめ、都会の人たちの農業体験や持続する農村社会の構築の研究などNAFICでは、今後の日本の農業のあり方を研究実践します。NAFICは奈良県農政のメッカとなる施設です。

奈良県とのまちづくり協定を締結

桜井市の財政が厳しいなか、市民生活、教育、福祉の充実、労働環境の整備、所得の向上などは欠かすことができません。そこで、奈良県と桜井市が「まちづくりに関する包括協定」を締結。大神神社参道周辺地区、中和幹線栗殿近隣周辺地区、近鉄大福駅周辺地区、桜井駅周辺地区、長谷寺門前町周辺地区の5つのエリアでまちづくりが進められ、「住んでよし」「訪れてよし」の賑わいと、国のはじまり桜井市の歴史と文化に包まれた他府県の市町村にはないまちづくりが始まりました。

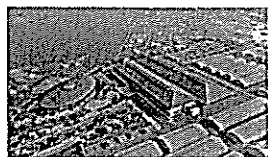
長谷寺門前町周辺地区でも具体的な計画が提示されて、いよいよ本格的にプランが始動します。

県会議員としての活動報告

NAFICの誘致

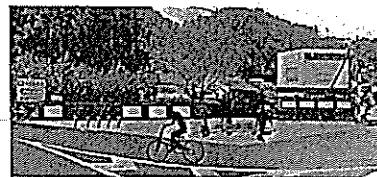
桜井市に設置されていた県の施設は、ここ近年はどんどんと市街に移転しているのが現状でした。

大三輪病院が国保病院として田原本へ。奈良県桜井保健所は葛城保健所と統合して橿原市へ。土木事務所へ。県の施設としてNAFIC(なら食と農の魅力創造国際大学校)の誘致が大きな成果となりました。



奈良県農業の担い手を育て、奈良の食の魅力創造するNAFIC

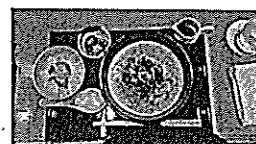
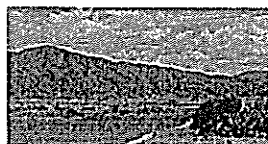
奈良県は農業県であり、農業製品から加工品、販売までの6次化産業の推進。高級食材としての奈良野菜の需要の拡大、大和牛、ヤマトポークなど奈良の食材を使った料理の開発。



長谷寺門前町周辺地区のまちづくりも具体的なプランが完成

桜井を国際観光のブラド化へ

桜井市には大神神社をはじめ、三輪山、こもりくの初瀬、談山神社、箸墓古墳、纏向遺跡、聖林寺国宝、万葉集に詠まれた風景、山の辺の道、三輪そうめん、木材産業など世界ブランドとなり得るものが多数あります。橿原市、明日香村などの近隣市村と連携し、国際観光ブラド化でよりよい暮らしを実現します。



第11号様式の5 (第5条関係)

政務活動記録簿 (広報紙の発行・発送等)

会派・議員名 和田恵治

年 月 日	平成 30 年 11 月 20 日				
表題と発行部数	広報誌「和田通信改題 26号」24,900部				
対象者	桜井市内				
配布方法	新聞折込、郵送、手渡し				
発行目的	奈良県及び桜井市の取組みの報告を行い、意見・要望を求める				
按分率の説明	按分率 50% 政務活動以外の記事が全体の 50%を占めるため				
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ H30.9月県議会 代表質問 (少子化、人口減少の対策、女性労働とひとり親女性の対策、人権施策の推進、障害者問題、) ・ 県議会内容 (H29年度決算承認、政務活動費廃止議案の否決等) ・ 経済労働委員会 (和田恵治委員長) 三輪素麺工業協同組合調査訪問 ・ 活動日誌 (7月~9月) 				
編集・制作・ 発送等に要した 経費	項目	支払先	金額	金額の積算	領収書番号
	印刷・折込	マキムク 印刷	326,300円	24,900部発行	50
	郵送料	桜井郵便 局	125,160円	1,788通	56
※ 50%充当		合計 452,060円 × 50% = 226,030円			
備考	添付資料：広報誌「和田恵治通信改題 26号」				

注 発行した広報紙を添付してください。

平成29年度決算承認9月議会

県議会の9月定例会は「平成29年度歳入歳出決算」や「(仮称)県芸術家村整備事業にかかる請負契約の締結」「第10次県職業能力開発計画の策定」「県立高等学校適正化実施計画の変更」など承認。最終日に提案された政務活動費の廃止、減額についての2議案を否決しました。



生活、教育、福祉の向上充実 産業と観光が地に着いた発展

和田恵治県政報告会
9月9日 桜井市立図書館

政務活動費の廃止を推進し、9月県議会定例会に廃止条例を提案することを含めた、これまでの県議会議員活動と現在の県政の内容を紹介する和田恵治県政報告会が9月9日、桜井市立図書館で開催されました。

まず、桜井市でソプラノ歌手として活動している森井まゆみさんのミニコンサートがあり、七夕をテーマにした新作「銀河の恋」を披露。この歌は奈良県三輪素麺工業協同組合の新ブランド「銀河の恋」の総合プロデューサーとして起している水彩画家、戸田勝氏が作詞。

この後、来賓の松井正剛市長が激励のあいさつを行いました。

報告会では、県議会議員として2期目を務める中で、とくに桜井市民の生活に大きく関係している事柄を中心に進められました。県と桜井市が共同で行うまちづくりの「三輪参道」「大福駅周辺」が着実に進められ、「桜井駅周辺」「長谷寺門前」の取り組みが始まっていること、なら食と農の魅力創造国際大学校(NAFIC)でセミナーハウスが建設されることから、桜井市民が利用して農業振興や観光振興に役立てることができると、奈良県の名産の三輪素麺を活かした方策のひとつである桜井産の小麦で三輪素麺の最高級ブランドを作り、高付加価値のある商品開発と販路の拡大を報告。

木材のまち桜井市の地場産業の柱である木材振興に取り組んでい

ることや、中和幹線沿いに企業誘致を行って雇用の創出と市の財政基盤の強化を図っていることなどを報告。

見書を出し、県税収入未済額が依然として多額であること、育英奨学金貸付金、修学支援奨学金貸付金の収入未済額が増加傾向にあること、手続きの金額賦課や公有財産台帳へ登録のない財産等がある状況、その他の関係書類について審査した意見書を提出。県税収入未済額が依然として多額であること、育英奨学金貸付金、修学支援奨学金貸付金の収入未済額が増加傾向にあること、手続きの金額賦課や公有財産台帳へ登録のない財産等がある状況、その他の関係書類について審査した意見書を提出。県税収入未済額が依然として多額であること、育英奨学金貸付金、修学支援奨学金貸付金の収入未済額が増加傾向にあること、手続きの金額賦課や公有財産台帳へ登録のない財産等がある状況、その他の関係書類について審査した意見書を提出。

問題が多い政務活動費については、創生奈良の取り組みとして、モラルを保つために廃止の条例を提案すると説明しました。

平成25年に桜井高校野球部が奈良県大会で優勝し、甲子園に初出場を果たしました。この快挙を祝って和田通信に記事掲載しましたところ、政務活動費の目的の外使用とされ、紙面の全体費用から割り出した記事分の19025円が訴訟の対象になっていました。


桜井高校は伝統ある高校であり、その野球部が甲子園常連校の多

い奈良県大会を勝ち抜いて優勝した快挙は桜井市を元気づける話題として、この事実を市民の皆様にお知らせすることが政務活動費を使用する上では不適切である、ということになりました。

政務活動費の用途については、適切であることも考えられますので、今後も廃止の取り組みを続けます。

天理市柳之内町の山の辺の道沿いに県が建設を進めている県国際芸術家村の請負にかかる契約を原案通り可決しました。

奈良県議会議員
和田恵治



和田恵治事務所
〒633-0067
桜井市大福241-10 2F&3F
Tel&Fax 0744-43-0686
http://www.wada-keiji.com/
Facebookもチェック

プロフィール

1949年3月 桜井市大福に生まれる
1967年3月 奈良商工高等学校卒業
1971年3月 天理大学外国語学部卒業
1979年4月 桜井市議会議員(初)
2011年4月 奈良県議会議員(初)
(一財)奈良人権・部落解放研究所 理事
(一社)うるわしの桜井をつくる会 常任理事
(一社)桜井市観光協会 常任理事
NPO法人コミュニケーション研究センター 理事
NPO法人桜井菜の花プロジェクト 役員
NPO法人奈良県生活福祉支援協会 副理事長
県議会関係 経済労働委員会委員長
南都-東部地域振興対策特別委員会委員
政務検討会 副議長

奈良県歳入歳出決算並びに基金の運用に関する審査意見書

県監査委員会は平成29年度奈良県歳入歳出決算並びに奈良県芸術品等取得基金及び奈良県用品調達基金の運用状況、その他の関係書類について審査した意見書を出し、県税収入未済額が依然として多額であること、育英奨学金貸付金、修学支援奨学金貸付金の収入未済額が増加傾向にあること、手続きの金額賦課や公有財産台帳へ登録のない財産等がある状況、その他の関係書類について審査した意見書を提出。県税収入未済額が依然として多額であること、育英奨学金貸付金、修学支援奨学金貸付金の収入未済額が増加傾向にあること、手続きの金額賦課や公有財産台帳へ登録のない財産等がある状況、その他の関係書類について審査した意見書を提出。

政務活動費の廃止議案を否決
9月定例会最終日

県議会9月定例会は10月19日に最終日となり、この日に提案された議案と、議案となった意見書について審査されました。

政務活動費の廃止の議案として審査されました。また、月額10万円を

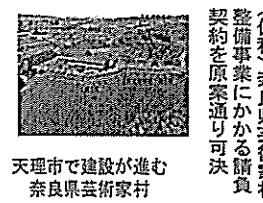
減額することを目的とした「政務活動費の交付に関する条例の一部を改正する条例」も日本維新の会から提案され、一括審議となり、それぞれの会派が提案理由を述べた後、公明党と日本共産党から政務活動費は必要であり、廃止と減額に反対する意見が述べられました。

採決の結果「廃止」「減額」の条例案は何れも賛成少数となり否決されました。

(仮称)奈良県芸術家村整備事業にかかる請負契約を原案通り可決



桜井高校の甲子園出場を掲載した平成25年の和田通信



天理市で建設が進む奈良県芸術家村

平成30年9月定例会で創生奈良を代表して質問

少子化、人口減少に
対する対策について

和田

25歳から39歳の年齢層の女性人口は2015年で1087万人。25年後の2040年には814万人と4分の3に減少する。奈良県の場合は2025年まで毎年1万人減少し65歳以上の高齢者が県民の3分の1になると予想されている。人口の減少と高齢者の増加、子どもが少ない人口構造になる。この状況を前提にした社会構想の基では県民のニーズも異なるのではないかと。そこで、奈良県の人口減少の状況についてそのように考え、その対策を進めようとしているのか、知事の所見を伺いたい。

和田

と高齢化が急速に進んでいく状況にある。高齢者のための医療提供体制の整備、地域包括ケアシステムの整備と、若者が働き易く、子育てし易く、食を見つけ易い環境づくりが必要だ。どのような人口構造になっても「健康に暮らす」ことは最も大事。健康寿命の全国順位が大幅に上昇し、南和地域の広域医療体制を再編し、ドクターへの運行やER型救急医療体制を整備し、5月には奈良県総合医療センターが移転開院し、救急医療の面では安心できる奈良県になってきた。

「奈良モデル」を推進することで地域行政効率化や行政サービスの水準での維持を図れば、奈良県は素晴らしい地域になり、人口減少そのものは必ずしも悲観することではないと考える。

和田

ここまで人口減少が進行するようになった原因は、国、社会が男

女性労働とひとり親
女性の対策について

和田

日本の就業人口は、平成24年の調査では6252万人。このうちの経営者や専門職、管理職などを除く労働者階級の人口は3906万人で約63%。この中で正規労働者が2193万人で56%。非正規労働者が929万人で24%。パート主婦が785万人で20%。正規と非正規の労働

和田

性中心の社会を維持し、女性の社会進出を阻んで子どもを産みやすい状況を作った。子どもが「社会の宝」であるような雰囲気をつくり出し、「未来の女性」が希望する子どもを産める社会づくりが必要と考えるが、どうか。

わが国では、これまで男性中心の社会で女性が仕事と子育てを両立できる環境が十分に整備整備されてなかった。少子化対策の重要なポイントを3つ考えて

条件には乖離があり、固定化している。非正規の年収は186万円であり、貧困率は約39%もありまさに衝撃の格差です。しかも、パート主婦を除く非正規労働者の中で女性は43%を占めている。この非正規労働者の女性の大半は、離婚・死別して配偶者のいない人であり、20歳から69歳の年収はわずか169万円。貧困率は43%で

人権施策の推進について

和田

人権3法の内容などを広く周知し理解を図ることが重要であり、実際に人権侵害を受け

和田

制定など、強力に人権施策の推進を図る必要があると考えるが、知事の所見を伺いたい。

県では「教育・啓発」と「相談体制の充実」を人権施策の重要な柱と位置付け、国、市町村、関係機関等との連携を図りながら積極的に取り組むべきと考える。相談員一名を配置し、「なら人権相談ネットワーク」を活用して関係部局による横断的な連携のもと、市町村、関係団体との

とすると、非正規雇用労働者は67となっており、これは全国平均で約51%になりま

横の関係の連携強化も必要と考える。

差別を助長する書き込みや身元調査、市町村への同和地区に関する問い合わせ事案など今もあると思っ

県では「教育・啓発」と「相談体制の充実」を人権施策の重要な柱と位置付け、国、市町村、関係機関等との連携を図りながら積極的に取り組むべきと考える。相談員一名を配置し、「なら人権相談ネットワーク」を活用して関係部局による横断的な連携のもと、市町村、関係団体との

女性がひとり親の約9割が就労して、約半数が非正規労働者であり、年収が200万円未満が分かっている。県では自立支援センターを設置して、平成29年度は245人が就労した。交流の場や地域における子ども学習支援、こども食堂の拡充などに努める。

障害者問題について

和田

今、国では大半の省庁で障害者雇用の水増しが問題になっており、奈良県でも知事部局と県教委で障害者雇用59人の水増しを公表しました。最初から雇用していた職員が誰が障害者であるのかを認知していたのであれば、「水増し」は生まれません。どうして「水増し」という現象が現れたのか。その「水増し」の人数がどのような調査方法で59人もいることが分かったのか。また59人を障害者とみなす合意を当事者間で交わっていた

知事

障害者雇用の算定については、障害者として採用した職員だけではなく、報告時点ですべて働いている障害者すべてを計上することになっていく。12月末現在の報告を6月に労働局に報告することになっていくと記憶している。また、国の「ガイドライン」に配慮した障害者の把握・確認が

「水増し」では、その報告に計上する障害者は、身体障害者手帳によって確認することとされている。このガイドラインは民間事業者向けに策定されたものであるが、県でもガイドラインに準じた適正な取り扱いに務めることとされている。

和田

しかし、このガイドラインに対する認識不足により、知事部局と教育委員会では、これまでの手帳での確認を行わず、自己申告によっていた。そこで今回改めて手帳の確認を行い、再確認をした。知事部局で5名、教育委員会で54名、その内、県立学校が24名、市町村立学校が30名で、合計59名については手帳の確認ができて

知事

数字を根拠なく事務局が故意に積み上げた水増しはなかったと思いが、ガイドラインに沿った事務手続きがなかったことは、真摯に反省して、改善すべきと思っている。

和田

ガイドラインに及ぶ調査ならその人の人権を侵害することのないように調査することが求められるが、その配慮はできていたのか。福祉制度の利用についてさまざまな思いを抱く人がいることも考え、一刻も早く、原因の究明と解決を図り障害者福祉行政の信頼を回復して頂きたい。

知事

精神障害者の公共交通機関の割引制度の適用を実施する働きかけと進捗状況、今後の取り組みを伺いたい。

和田

障害者に対する公共交通機関の運賃割引制度は、障害者の社会参加を一層促進するために重要な役割を果たしている。

知事

JR、航空会社などの公共交通機関や有料道路は多くの場合、身体障害者、知的障害者は割引の対象になっていない。理由として、精神障害者は対象になっていない。理由として、精神障害者は保険福祉手帳には写真がなく本人確認ができないと聞いているが、現在では写真があり本人確認ができる。

南部・東部地域振興対策特別委員会

南部・東部地域振興対策特別委員会は平成30年9月12日に開催。記紀万葉での観光客誘致や地域産業の発展を推進している立場から、観光振興について、次の点を質問しました。

観光資源は吉野の桜なども含めて吉野はひとまとまりであるのではないか。桜井、堰

原、高市は記紀万葉の資源が詰まっている。このような地域への交通アクセスが必要であり、愛称を付けてルートの名前にするのと地域の特長がでるのではないか。

これに対する県の回答は、2020年が記紀万葉プロジェクトの集大成の年ということ把握するが、この年

経済労働委員会

経済労働委員会は平成30年9月26日開催。副委員長と議長を交代して次の点を質問しました。

卸売市場の再整備構想の中で、ねらい、施設の建てかえの概要、取扱高と販売量を増やす方法、奈良県の特産物の取り扱いはどうなっているのか。

これに対して県は、

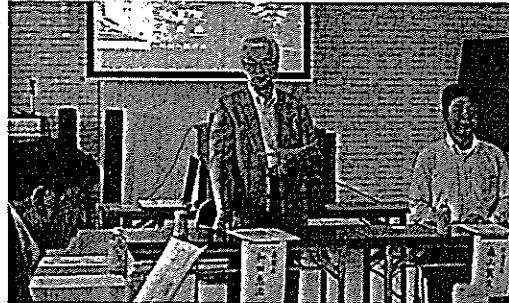
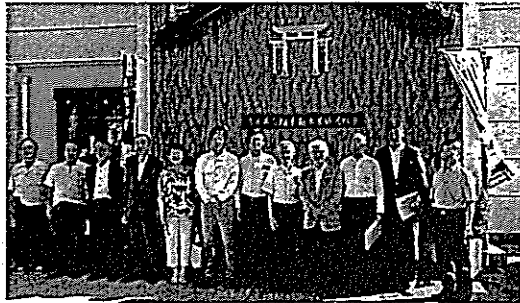
学校でのエアコン設置促進 要望で和田関連が2項目

平成30年9月定例会の本案議で設置された予算審査特別委員会は平成30年度奈良県一般会計補正予算を審査。7月豪雨等による災害への対応、学校でのエアコン設置促進等を承認。奈良県に8つの項目を要望しました。和田関連は次の2項目。

- ①災害時に備え、非常用電源のための燃料の備蓄を推進するなど、分散型エネルギーの導入促進に取り組まれたこと。
- ②行政における縦割りの弊害が生じないよう、部局間で施策・事業の調整・連携を図りたいこと。

奈良県三輪素麺工業協同組合を県内調査訪問

経済労働委員会 9月5日



日本の麺食文化が発祥
三輪山のほとりで生産

奈良県議会経済労働委員会(和田恵治委員長)は、平成30年9月5日、桜井市三輪の奈良県三輪素麺工業協同組合(池側義嗣理事長)を訪問し、三輪素麺の歴史や将来の展望などを池側理事長から説明を受けました。

訪問に際して和田委員長が「日本の麺食文化のルーツは、三輪で生まれた手延べ素麺です。その概要について見聞させて頂き、今後の議会活動にいかしたい」とあいさつしました。

協同組合の池側理事長が、三輪素麺の歴史は1200余年の昔に、大神神社の神主が飢饉を救うために、三輪の小麦を石臼で挽いて清らかな三輪の水で素麺を作ること地元に教えたことが出発点。現在、県のファンド事業で桜井産の小麦による新三輪素麺作り挑戦していること、この事業などを足がかりにして、業界の発展につなげたいことなどを紹介しました。

和田恵治の議員活動日誌

7月

- 3日 奈良県議会閉会(改選)
- 5日 税理士同友会研究会(～5日)
- 7日 差別をなくす市民集会
- 13日 連合奈良懇談会
- 17日 奈良県議会正副委員長会議
- 20日 和田後援会花見会
- 22日 県連女性部定期大会
- 24日 さよなら原発なら県ネット総会
- 25日 川口正志県議を囲む集い
- 28日 大福地区高齢者交流会
- 29日 NPO法人奈良杜生活動協会6周年記念

8月

- 2日 障害者差別をなくす奈良県協議委員会
- 27日 奈良県議会南部・東部地域振興対策委員会県内視察
- 28日 人権擁護委員会と懇談
- 30日 桜井市老人福祉大会
- 31日 二一会(議員懇談会)

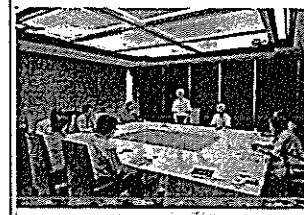
9月

- 1日 桜井市社会福祉活動功労者表彰式
- 3日 日30奈良県障がい者推進フォーラム
- 4日 さよなら原発なら県ネット
- 4日 桜井市職業者懇談会
- 5日 奈良日日新聞創刊120周年記念祝賀会
- 5日 奈良県議会経済労働委員会県内視察
- 9日 和田恵治県政報告会
- 12日 南部・東部地域振興対策特別委員会
- 13日 奈良県議会閉会
- 14日 情報連携奈良県協議会 定期大会
- 16日 奈良県安全運転フェスティバル
- 16日 地域別急病相談演習会
- 18日 桜井市万葉まつり
- 20日 奈良県議会がふるさと
- 20日 奈良県議会(和州代表員間)
- 21日 障害者差別をなくす奈良県協議委員会
- 22日 二千年の観月会(大師土舞台)
- 23日 南部振興議員連盟
- 26日 奈良県議会経済労働委員会
- 27日 大塚倉庫工業式
- 28日 奈良県議会予算委員会
- 30日 奈良県人権部啓発研究会



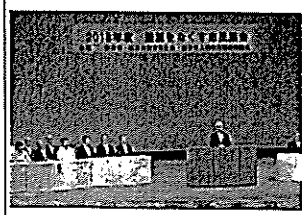
新三輪素麺プロジェクト会議
三輪素麺会館 7月20日

三輪山のふもとで栽培した小麦で三輪素麺を作る新三輪素麺プロジェクト会議が開催され、提唱者として出席。この日は奈良日日新聞社の藤山純一社長が出席し「三輪素麺の販売拡大と世界に向けて発信する取り組みを行っている」と挨拶しました。



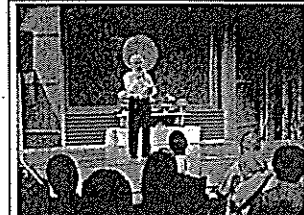
素麺の付加価値概念と戦略
THE KASHIHARA 7月19日

三輪素麺の高付加価値化を推進している新三輪素麺プロジェクト会議が素麺の販売価格を高くする高付加価値の会議を開催。提唱者として出席。水彩画家の戸田勝さんが「もうめんパッケジの概念と総合プランとして」銀河の恋を説明しました。



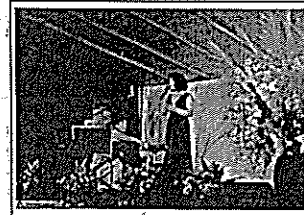
差別をなくす市民集会
市民会館で 7月7日

2018年度の差別をなくす市民集会桜井市・桜井市教育委員会・桜井市人権推進協議会主催)が開催され、来賓として出席。ドリアン助川さんが「私たちはなぜ生まれてきたのか?小説『あん』でハンセン病回復者の人生を描いた意味を講演しました。



二千年の観月会かむなびの郷
市立図書館で 9月23日

かむなびの郷が主催する二千年の観月会が天候の関係で市立図書館で開催され、来賓として出席。雅楽の演奏から始まり、大和ハープとキターのデモ演奏や大鼓の演奏、フィナーレは出演者全員で打楽器を演奏して会場全体が盛り上がりました。



第5回奉納コンサート
等彌神社で 9月17日

第5回等彌神社奉納コンサートが開催され、来賓として出席。まず奉納祭・奉告祭を行い、畿央大学付属幼稚園園児が太鼓演奏。続いて山本昌代さんのソプラノ、山口美樹子さんのピアノでドビュッシーなどのクラシック音楽を演奏。境内には爽やかな秋風が。



2018年大和さくら万葉祭り
市役所周辺で 9月16日

2018年大和さくら万葉祭りが市役所周辺で開催され、来賓として出席。今年も桜井市民の大きな楽しみの一つとして開催されました。開会セレモニーでは子供たちの演奏パフォーマンスが祭りの楽しさを盛り上げ、多数の参加者で賑わいました。

第11号様式の5 (第5条関係)

政務活動記録簿 (広報紙の発行・発送等)

会派・議員名 和田恵治

年 月 日	平成 31 年 1 月 31 日				
表題と発行部数	広報誌「和田通信改題 27 号」30,000 部				
対象者	桜井市内				
配布方法	新聞折込等, 郵送				
発行目的	奈良県及び桜井市の取組みの報告を行い、意見・要望を求める				
按分率の説明	按分率 50% 政務活動以外の記事が全体の 50% を占めるため				
内容	政務活動費廃止の訴えと自ら辞退することの報告 1 1 月県議会報告 県内の文化資産を活用した観光振興を推進する奈良県国際芸術家村の設立。 活動日誌 (10~1 2 月)				
編集・制作・ 発送等に要した 経費	項目	支払先	金額	金額の積算	領収書番号
	印刷・折込	マキムク 印刷	363,000 円	30,000 部発行	67
		※ 50% 充当 合計 363,000 円 × 50% = 181,500 円			
備考	添付資料：広報誌「和田通信改題 27 号」				

注 発行した広報紙を添付してください。

2019年4月以降の 政務活動費を辞退します

政務活動費廃止の議員提案が10月19日に本会議で否決されました。
創生奈良提案に、廃止賛成6名、反対36名。桜井市選出県議では、和田が賛成。

1000名の桜井市での賛成署名に感謝し 今後も政務活動費廃止を進めます。

経緯：県民の直接請求で政務活動費の廃止を求める署名が20000名ありましたが、必要とされる23000名に届かなかったため、署名者の意向を議員提案しました。

現行の政務活動費は欠陥制度 県会議員の評価をおとします

奈良県政務活動費は、一人年額360万円(議員336万円。議員から会派へ24万円。残金があれば返還)。44人の議員がいますので、一年間に1億5千万円を予算計上しています。「政務調査費」から「政務活動費」に名称変更しましたが、詐欺が発覚したり、多くの不正使用があると指摘されています。奈良県でも県議が領収書を偽造して辞職しました。

平成25年度の政務活動費返還住民訴訟では、37名の県議が訴えられ、そのうち14名に對して返還判決がでました。不正使用分として和田通信の「桜井高校が甲子園に出場」(平成25年8月)記事が確定。19025円が確定。19025円が確定。19025円が確定。

桜井高校の快挙を称える記事が不正使用と認定されると、県会議員・和田恵治もイメージダウンとなります。



桜井高校の甲子園出場を掲載した平成25年の和田通信。桜井市民から不正使用を指摘されたものではありません。

政務活動費の趣旨は、一般的な議員報酬以外の政治活動経費です。事務所運営費や調査研究等に充てられますが、議員の勝手な判断で詐欺や不正使用に流用できる欠陥制度です。地域の発展に寄与する正当な活動であると議員が判断しても、誰かが疑問を持てば提訴できます。弁護士費用

県会議員・和田は現在、奈良県と桜井市の発展を目指す議員活動をやる上で、政務活動費を組み込んだ活動をしていくが、廃止の条例議案が否決されたことから、2019年の4月から自主的に辞退をいたします。※2019年3月までは政務活動費は、①事務所運営②人件費③調査研究④広報等に組み込んでいきます。

返還ゼロの地裁判決
住民訴訟8件。確定1件。係争中7件の1件は政務活動費返還ゼロの地裁判決です。訴訟されるが全面的に議員の不正が暴露されたという印象があります。2件の判決が出て確定済み以外の奈良地裁判決で政務活動費返還ゼロが昨年12月でています。

奈良県議
和田の公約です
政務活動費を廃止します
税金の無駄をなくします
この税金の無駄をなくすことができます。

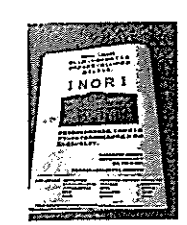
和田 恵治
奈良県議会議員
和田恵治事務所
〒633-0067
桜井市大福241-10 2F&3F
Tel&Fax 0744-43-0686
http://www.wada-keiji.com/
Facebookもチェック

プロフィール
1949年3月 桜井市大福に生まれる
1967年3月 奈良商工高等学校卒業
1971年3月 天理大学外国語学部卒業
1979年4月 桜井市議会議議員(初)
2011年4月 奈良県議会議議員(初)
(一財)奈良人権・部落解放研究所 理事
(一社)うるわしの桜井をつくる会 常任理事
(一社)桜井市観光協会 常任理事
NPO法人コミュニケーション研究センター 理事
NPO法人桜井菜の花プロジェクト 役員
NPO法人奈良県生活福祉支援協会 副理事長
県議会議議員 経済労働委員会委員長
南都・東部地域議員対策特別委員会委員
政経検討会議議長

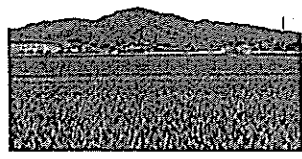
事故を忘れるな中村敦夫の練量計が鳴る
2011年3月に「原発安全神話」が嘘であることを知ったにもかかわらず、放射能安全神話を広めてはいけません。朗読劇が私たちに問いかけます。「見たら、行動せよ」と。二度と原発事故を起こさないため。

学校でエアコンの設置進む

9月定例会で補助金の緊急予算化
桜井市では夏までに小中学校で使用
記録的な猛暑が続いた気候の中、学校でのエアコン設置率が低い奈良県の現状を改善するため、緊急措置として9億円の予算化が、県議会9月定例会で行なわれました。
桜井市では、公立小学校11校、公立中学校4校の174教室にエアコンが設置され、夏までに使用できるようになります。市は財政難からふるさと納税の寄付を広く呼び掛けています。
これまでの学校でのエアコン設置率は奈良が74%、大阪77%、京都84%、和歌山44.5%で奈良は他府県と比べて低水準でした。



なら農商工連携ファンド助成金事業で取り組んでいる新三輪そうめんプロジェクトの核となる農水省が三輪そうめんと認める小麦の開発が、農事組合法人アグリ大泉の努力で成功しました。
この新三輪そうめんの取り組みや桜井市と奈良県の未来について、大神神社参道整備の現状についてなどをテーマに、2月9日午後7時からJAならけん緑田支所3F大会議室で報告会を開催します。



桜井市は奈良県の中でも小麦が多い

**奈良県議会議員
和田恵治を
囲む集い**
3月10日午後1時30分
分ちから桜井市立図書館
3月中旬午後1時30分
分ちから桜井市大福838の備ハラダ配
送センター

11月定例県議会

平成30年度一般会計補正予算など15の議案を審議可決、2の報告を承認

台風被害や県立高校の耐震化対策などに41億1千8百万円の補正

奈良県議会11月定例会が11月30日から12月14日まで開かれ、夏の台風被害の対策や県立高校の耐震化のほか、平成31年5月開催の「ムジークフェスト」なら2019年の準備、吉野山地区のまちづくりの検討に対する支援、平成31年4月に行われる県知事、県議会議員選挙にかかる経費などに要する補正予算41億1千8百万円を追加計上する議案や、条例の改正など15の議案を審議可決し、2つの報告を承認しました。

市場と賑わい創出の融合を図る 新機能導入の中間報告を行う

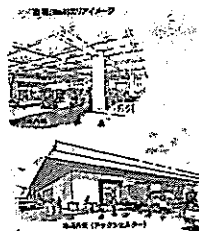
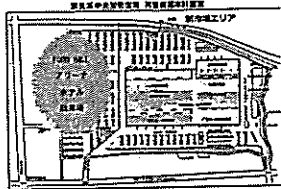
奈良中央卸売市場運営協議会開催

和田恵治（経済労働委員会委員長）が委員となっている奈良県中央卸売市場運営協議会は11月26日、奈良県中央卸売市場3F大会議室で同市場再整備の中間報告などを審議しました。

中央卸売市場の施設の老朽化、インターネット販売など市場外取引の増加や季節の物流動線の非効率などに対処し、安全・安心・

新鮮な鮮食品を安定供給する基本機能の強化や、県民、観光客が防れる賑わいのある食の拠点を目指す新機能導入の中間報告が奈良県農林部により行われ、審議されました。

計画は既存の構造物を最大限活用して使用する。人口の減少や取扱量の減少があり規模を縮小する。効率的な物流動線を確認する。共同配送、チルド製品



外国人観光客の一人当たり支出
奈良県が最下位

国土交通省観光庁がまとめた訪日外国人観光客の消費動向調査の最新が、11月定例県議会資料として紹介されました。

2018年4～6月の都道府県別調査で

の輸送可能な物流対応を行う。余剰スペースを活用してホテルを誘致する。奈良の食の魅力を感じてくれるフードホールを設置し、食文化の発祥の地としての奈良の魅力が体験でき

る催しの開催。栗草風呂や観光客がここでしか体験できないエステやマツサージ。スポーツイベントや音楽イベントができるアリーナの設置、など新しい方向性を示しました。

訪問率は大阪府4.8%、東京都4.6%、千葉県3.4%、京都府3.2%、奈良県1.3%で全国5位。近畿が福岡県の10.9%。隣にある和歌山県15%、三重県0.5%。しかしながら一人当たり支出は奈良県は5165円と最下位。1万円以下も奈良県だけ。大阪府は57347円。

年次計画	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
西の京高等学校	第1学年在籍	第2学年在籍	第3学年在籍	第4学年在籍	
平城高等学校	第1学年在籍	第2学年在籍	第3学年在籍	第4学年在籍	
登美ヶ丘高等学校	第1学年在籍	第2学年在籍	第3学年在籍	第4学年在籍	
国際高等学校		第1学年在籍	第2学年在籍	第3学年在籍	第4学年在籍
奈良大学附属高等学校		第1学年在籍	第2学年在籍	第3学年在籍	第4学年在籍
大淀高等学校	第1学年在籍	第2学年在籍	第3学年在籍	第4学年在籍	
吉野高等学校	第1学年在籍	第2学年在籍	第3学年在籍	第4学年在籍	
奈良南高等学校		第1学年在籍	第2学年在籍	第3学年在籍	第4学年在籍
大学院高等学校		第1学年在籍	第2学年在籍	第3学年在籍	第4学年在籍
楳生学園高等学校		第1学年在籍	第2学年在籍	第3学年在籍	第4学年在籍
奈良朱雀高等学校		第1学年在籍	第2学年在籍	第3学年在籍	第4学年在籍
高円高等学校		第1学年在籍	第2学年在籍	第3学年在籍	第4学年在籍
高円技術高等学校		第1学年在籍	第2学年在籍	第3学年在籍	第4学年在籍
奈良県立商業高等学校		第1学年在籍	第2学年在籍	第3学年在籍	第4学年在籍
奈良北高等学校		第1学年在籍	第2学年在籍	第3学年在籍	第4学年在籍
十津川高等学校		第1学年在籍	第2学年在籍	第3学年在籍	第4学年在籍
五條高等学校(定時制)		第1学年在籍	第2学年在籍	第3学年在籍	第4学年在籍
奈良高等学校		第1学年在籍	第2学年在籍	第3学年在籍	第4学年在籍

※宇陀高等学校、奈良南高等学校には専攻科を設置します。専攻科では高等学校卒業後に専門的な内容を学ぶことができます。

審議が続いていた県立高校の適正化が決定しました。

当初の計画通りに進められる
少子化が進む中、公立高校の適正化案が提出され、議論していましたが、当初の年次計画の通りに進めていくことが決まりました。県立高校の再編のトップをきって、2020年に開校される県立国際高等学校は多様な人々と語り合い、国際社会の平和と発展に貢献する人材の育成を行うとともに、文理のバランスのとれた教育を行います。また、国内だけでなく海外の大学への進学ができるようにし、国際教育の充実を図ります。

山の辺の道に新名所 奈良県国際芸術家村

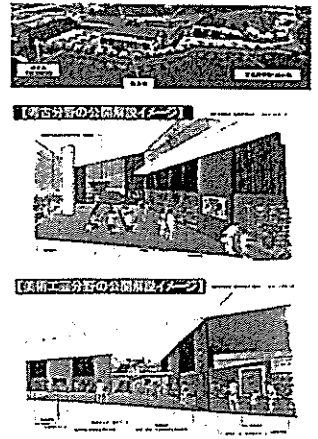
奈良県は7月11日、文化資源を有効に活用して観光振興や県民の生活に役立てることを目的とした(仮称)奈良県国際芸術家村の起工式を天理市杣之内町の同村工事現場で行いました。2021年度中のオープンを予定。総工費は99億5千万円。

奈良県には国宝をはじめとする多数の文化財や歴史、文化があり、この文化資源を有効に活用します。同村は最古の道、山の辺の道のすぐ西側にあり、大神神社から石上神宮

までのルートが観光客に人気が高いこともあり、山の辺の道を出発点にして天理市、桜井市、磯城郡など、隣接する市町村から奈良県全体の観光振興の情報発信を行います。

また、ホテルを誘致して宿泊型の奈良観光の振興を目指したり、文化財の展示だけでなく体験できる歴史文化のイベントのほか、県内の子どもたちに奈良県の歴史を知ってもらうことのできるセミナーなども開催。

展示は考古分野のほか美術工芸があり公開



経営委員会が報告
芸術家村のホテル
中央卸売市場整備
奈良県議会経済労働
委員会(和田恵治委員
長)は12月11日開会。
中川産業・雇用部長が
(仮称)奈良県国際芸術
家村の宿泊施設の事
業者認定にあたり、公
開型プロポーザルを突
施することの報告があ
り、承認しました。

開解説とともに、天理市文化財課と橋原考古学研究所が連携し、奈良の歴史文化を学習体験できる機会を提供。美術工芸分野では民間修復事業者の誘致を進めています。

また、農村交流施設、伝統工芸施設を設けて来訪者に奈良県の食と農の魅力を提供するとともに、伝統工芸の作り手と来訪者がそれぞれ刺激を受け合

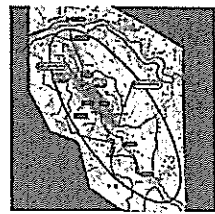
い、奈良の地で培われた手仕事や地域の魅力についての理解を深め、奈良の伝統工芸等のブランド価値を創造します。

県内観光の情報を広域的に扱い、人の流れを作るとともに、観光と農業を融合させ、地域が活性化される新たな仕掛けづくりを行っていきます。また芸術家と直接長期間交流できる機会を作ります。

また、中村農林部次長が奈良県中央卸売市場再整備基本計画中間報告(案)について、整備はできるだけ既存の構造物を利用してコンバクトに利用することや、余剰スペースを活用して観光客の誘致を促進する施設になることなどを報告し、承認しました。

県と吉野町のまちづくり包括協定に基づき、吉野町が実施する「吉野山地区における周遊性を高める移動手段の検討」に275万円の補正予算を承認。

吉野山には桜や金峯山寺、吉水神社、水神社など見どころが多く、日記万葉観光ルートと並んで中雨和の観光地に高めます。



「吉野山地区まちづくり」周遊性を検討
補正予算275万円

奈良県が対策推進議員連盟(和田恵治が副会長を務める)は12月25日、平成31年度予算編成にあたり、荒井正吾知事に要望書を提出しました。

要望は、①がん検診受診率向上対策の充実
②医療提供体制等の整備
③就労の支援④がん教育の充実⑤オストメイトに対する支援⑥受



治療と仕事の両立
差別のない暮らし
がん関連要望書

動喫煙防止対策の充実、の6項目。

なかでも、がんに罹患した際、正確で客観的な情報を容易に入手し、治療の選択を適切に行うことができるような医療情報体制の整備に取り組みること、かかりつけの医療機関が被災した場合における情報のバックアップ体制の強化を要望。

さらにオストメイト(人工肛門・人工膀胱造設者)が「奈良県障害のある人もない人もともに暮らしやすい社会づくり条例」に基づき、入浴施設や介護施設で差別的な取り扱いがされないような啓発と、災害発生時に備えた器具の備蓄や輸送等の施策を引き続き講じることが要望。

医療も介護もある地域全体の病院を

政策セミナーで安東範明県医師会副会長が講演



奈良県議会政策検討会議(和田恵治座長)は12月14日に政策セミナーを開催。安東範明奈良県医師会副会長が「医療現場から見た奈

良県の医療と現状について」のテーマで講演しました。

安東副会長は、日本社会の高齢化が進んでいる実態と2025年には人口の30%が高齢者になること、さらに2050年には高齢者1人に対して生産年齢者が1人になり、一対一の肩車社会になるとを説明。

このような社会での地域医療としては、医療提供体制の適正化と地域包括ケアシステムの構築が必要となること。向こう10年は前期高齢者が減少し、後期高齢者が増加する中で、高度医療のニーズは頭打ちになり、入院日数や再診回数は減少する、病院は個別の患者の生活上のニーズに

応えることが必要。奈良県の医師不足感は大病院が少なく規模の病院が多いため、医師の散在が原因。また病棟の機能よりも病院の機能を優先課題とし、急性疾患や慢性疾患の救急重傷な人々に手術などの対応ができる急性期病院が必要としてきた。

続いて、奈良県の地域医療構想は国から高い評価を受けているとの報告がありました。

EM農法の進展と特産物のメニュー
野迫川村地域振興

奈良県南部・東部地域の振興を推進する集い(川口正志会長)は11月12日野迫川村山村振興センターで野迫川



民の集いを催しました。

南部振興議員連盟、奈良県から村井浩副知事をはじめとする行政職員、野迫川村から角谷喜一郎村長をはじめとする役員職員、野迫川村議会議員の36名が出席して南部・東部の産業振興と雇用の確保の大きなテーマから野迫川村の個別の取り組みまで詳しく意見交換し、特産物の進展などの必要性を確認。

米軍基地負担に関する提言の推進を
求める意見書

11月定例県議会で採択した見書の概略は次のとおり。

一 米軍機による低空飛行訓練は、国の責任で騒音測定器を増やすなど必要な実態調査を行い、訓練ルートや訓練の時期を関連自治体や地域住民の不安を払拭した上で実施されるよう、十分に配慮を行

うこと。

二 日米地位協定を見直し、事件・事故時の自治体職員の迅速かつ円滑な立入の保障などを明記すること。

三 米軍人等による事件・事故に対し、具体的かつ突効的な防止策を提示し、継続的に進めること。

四 施設ごとに必要性や使用状況等を点検した上で、基地の整備・縮小・返還を促進すること。

ドイツ、オーストリアから合唱団70人が来県

まほろば国際音楽祭でフォーレのレクイエム



ウェルカムパーティでは奈良県三輪素麺工業協同組合が鯛そうめんを提供。



フォーレのレクイエムが熱唱されました。



オープニングセレモニーで来賓として祝辞を述べました。



一般社団法人まほろば芸術ラボ(山本昌代理理事)は、桜井市で第一回まほろば国際音楽祭を開催し、来賓としてブレイベ

桜井市の大神神社、談山神社、聖林寺などでもブレイベント

10月30日から11月3日までをブレイベントとして、大神神社や談山神社、等彌神社、聖林寺、土舞台でギターとソプラノ、バリトンの演奏やチエロコンサート、日本舞踊、和太鼓、三味線、ダンスの奉納演奏、朗読パフォーマンス「古事記」、ギター弾き語り演奏などを行い、11月4日に桜井市民会館で桜井高校合唱部の演奏、中村貴志指揮の「ふるさと」の四重奏に続き、フォーレのレクイエムを記念公演。

レクイエムの指揮はシテファン・モア。合唱はドイツ、オーストリアから参加したザルトツブルグ・モーツァルト合唱団とベルヒデスガートン・聖アンドレス合唱団とまほろば国際音楽祭記念合唱団。管弦楽はテレマン室内オーケストラ。

海外からの音楽家を招聘しての本格的な国際音楽祭は桜井市で初めて。今後の活動が期待されています。

ブレイベントは市民会館で、市民会館で平成30年度戦没者追悼式を行い、来賓として出席。松井正剛市長の式辞があり、奈良県、桜井市遺族会の関係者が追悼の辞を述べ、平和と繁栄の現社会の礎となった戦没者の御霊に感謝しました。

11月23日から25日、桜井市立中央公民館で絵画、書芸、彫塑、工芸、手芸、盆裁、写真、茶室、華道、の展示と表彰が行われ、来賓として出席。絵画では中井幸子さんが市長賞、西田澄美さんが市長賞、書芸では大田八重子さんが市長賞、金沢清泉さんが市長賞に。

和田憲治の議員活動日誌

10月

- 1日 県議会第1委員会(9月30日開会)
- 2日 県議会第1委員会
- 3日 自治労奈良県支部定期大会
- 4日 桜井市戦没者追悼式
- 5日 経営セミナー「交流の東い」
- 7日 桜井市民体育大会
- 10日 県議会第1回政策検討会第1回
- 13日 忍阪街道まつり
- 16日 奈良県緑化協会の理事会
- 19日 県議会(閉会)
- 25日 全国内水面漁業振興大会
- 27日 水戸市博物館20周年記念シンポジウム「まほろば国際音楽祭オープニングセレモニー」

11月

- 2日 東アジア地方政府会合
- 6日 ならヒーローズ議員団定例会議
- 7日 奈良県青年経営者交流会
- 10日 桜井市農商フェスティバル
- 14日 経営労働委員会初年度報告(16-18)
- 17日 全国育樹祭式典(16-18日)
- 20日 播磨経済圏推進協議会創立20周年
- 21日 奈良県・奈良市・政策推進協議会
- 25日 MAC奈良県支部・北井市支部
- 26日 奈良県中央卸市場協議会
- 27日 がん患者の会 懇談会
- 28日 南都東海地方振興対策特別委員会
- 30日 奈良県議会(閉会)

12月

- 1日 聖徳太子シンポジウム
- 2日 委向自主助成
- 4日 奈良県環境研究会
- 5日 所信表明演説記者説明会(奈良県)
- 6日 奈良県方法論と思想
- 9日 中井政夫(緑屋)が語る「語り芝居」
- 9日 桜井市をつなぐ清成会クリスマス会
- 10日 県議会政策検討会第2回
- 12日 経営労働委員会
- 13日 新三輪素麺プロジェクト会議
- 14日 県議会政策検討会第3回
- 15日 県入札・卸業務研究会
- 19日 大久保千広尊真展(中津道在任)
- 23日 メイキングのカンのかクリスマス会
- 25日 がん対策知事懇談会行動
- 県議会政策検討委員会第3回
- 飛鳥学院クリスマス会



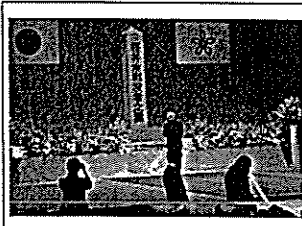
第42回全国育樹祭開催調布市で11月17、18日

全国育樹祭が東京の調布市にある武蔵野の森総合スポーツプラザで催され、県議会経済労働委員会委員長として出席。「育樹から木のある暮らしついでに」をテーマに木材の有効活用による森林循環の一層の促進や木材利用文化の継承などをメッセージ発信。



奈良県青年経営者交流会 若手経営者80人が参加 11月7日 橿原神宮養正殿

奈良県部落解放企業連合会と奈良県中小企業連合会、こふれ21の呼びかけで県商工会青年部連合会、県中小企業青年中央会、県商工会議所青年部連合会、日本青年会議所近畿地区奈良ブロック協議会、こふれ21幹事が参加、こふれ21顧問として出席。



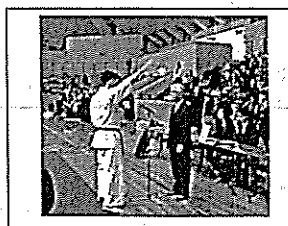
平成30年度戦没者追悼式 10月4日 市民会館

市民会館で平成30年度戦没者追悼式を行い、来賓として出席。松井正剛市長の式辞があり、奈良県、桜井市遺族会の関係者が追悼の辞を述べ、平和と繁栄の現社会の礎となった戦没者の御霊に感謝しました。



新三輪素麺プロジェクト会議 三輪素麺会館 12月21日

アグリ大泉が実施している県推奨小麦「ふくはるか」による三輪そうめん用の小麦栽培が成功。INOR(折り)の商品名での販売予想や、北海道産小麦のそうめんとの食べ比べ試食会があり、「たいへん美味しい。三輪山の力を感ずること大好評でした。」



第4回統一奈良県大会 第16回奈良県空手道交流試合

11月25日、大和高田市総合体育館で、空手道一連、空手道柔拳、極真館大阪北摂支部、同奈良県北支部、極真拳武会三浦道場、拳正会館、志友会館、新極真会奈良支部、誠空会、白蓮会館羽曳野支部、空手道MAC名古屋西道場、同奈良が参加。



平成30年度芸術芸能祭 第54回桜井市展

11月23日から25日、桜井市立中央公民館で絵画、書芸、彫塑、工芸、手芸、盆裁、写真、茶室、華道、の展示と表彰が行われ、来賓として出席。絵画では中井幸子さんが市長賞、西田澄美さんが市長賞、書芸では大田八重子さんが市長賞、金沢清泉さんが市長賞に。

第11号様式の5 (第5条関係)

政務活動記録簿 (広報紙の発行・発送等)						
					会派・議員名	和田恵治
年 月 日	平成31年2月28日					
表題と発行部数	広報誌「和田通信改題27号」5,000部追加分 広報誌「ニュースレター5号」28,000部					
対象者	桜井市内					
配布方法	新聞折込、手渡し					
発行目的	奈良県及び桜井市の取組みの報告を行い、意見・要望を求める					
按分率の説明	按分率50% 政務活動以外の記事が全体の50%を占めるため					
内容	ニュースレター5号 長谷寺門前町まちづくりの報告					
編集・制作・ 発送等に要した 経費	項目	支払先	金額	金額の積算	領収書番号	
	印刷	マキムク 印刷	68,400円	和田通信改題27号 5,000部	77	
		マキムク 印刷	302,400円	ニュースレター5号 28,000部	77	
	折込み	俣丸善	23,754円	折込み	71	
※ 50%充当 合計 454,554円 × 50% = 227,277円						
備考	添付資料：広報誌「ニュースレター5号」					

注 発行した広報紙を添付してください。

県政
詳報

桜井市の最前線

市民の皆様への NEWS LETTER
奈良県県政における最前線の取り組みを
レポートします。

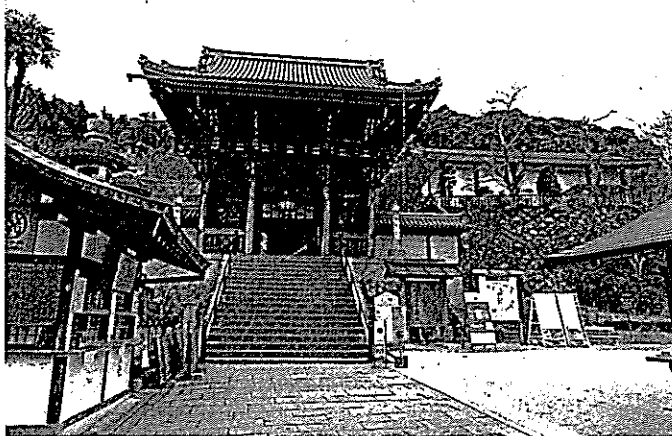
奈良県議会議員 和田恵治 〒633-0067 奈良県桜井市大福 241-10 2F(和田恵治事務所)



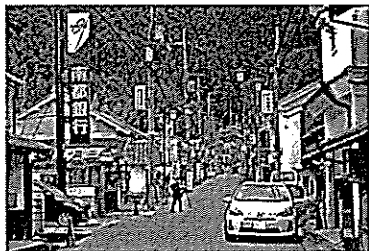
奈良県議会議員
和田恵治から
のお知らせです。

長谷寺門前町まちづくりがスタート

記紀万葉、平安時代からの賑わいと歴史文化を今に 奈良県、桜井市、長谷寺、長谷地区が協議会



花の御寺として古くから親しまれてきた長谷寺。平安貴族の参詣地として栄え、国宝十一面観音菩薩像は全国に有名。



門前町にはシャッターが多くみられ、電線の地中化も観光地としては必須。平成29年11月には、歩行者天国に合わせて電気自動車の小型バスによる送迎実験も行われた。

長谷寺観光のピークは昭和50年～60年代

長谷寺は奈良時代の8世紀中頃の創建で、紀貫之、紫式部、清少納言など多くの文人の作品に登場し、平安貴族の参詣地でした。とくに藤原道長が参詣して以降は参詣者が増えて国宝十一面観音菩薩像を拝観する貴族や庶民に溢れました。

古くから花の御寺と親しまれ、四季折々の花の中でもボタンが有名となり、ボタンまつりが行われる5月のゴールデンウィーク前後には全国からの観光客が長蛇列を作りました。この賑わいのピークは昭和50年から60年代。各地にボタンの名所が増えた事や観光目的の多様化により、参詣者の減少と、インターネットの普及で、満開時の短期間だけに集中して参詣者が訪れるように変化しました。

この現象と同時に門前町の衰退も始まりました。

奈良県と桜井市のまちづくりで現状を打破！

平成17年に「NPO泊瀬門前町再興フォーラム」が発足し、奈良県と早稲田大学の連携と文化庁の補助事業で空家活用事業などを通じて長谷寺門前町と周辺のまちづくりが進められており、この活動をふまえて奈良県と桜井市が平成26年に「まちづくり包括協定」を結び、平成28年に長谷寺門前町周辺地区まちづくり基本構想を策定。平成30年に実施に向けて協議会がスタートを切りました。

長谷寺門前町は、昭和時代の賑わいがまったくなく、空家によるシャッターが目立っています。数名の地主が土地を所有し観光客の衰退に伴って賃貸で営業していた事業者が撤退したあとを更地化して駐車場にしていますが、まち全体の魅力が年々失われているのが現状です。

まちづくりには住民の関心とリーダー必要

桜井市の中でも桜井駅前と並んで長谷地区の衰退がとくに著しいことから、地区住民の中には、まちづくりにおいて、政治的にも経済的にもリーダーとなる人物がいなかったことに加え、数名の地主と住民がまちづくりに関してまとまった意見や行動を持つことがなかったのが原因、と指摘する声があります。

「こもりくの初瀬」と万葉集に詠われ、平安貴族の参詣地として大いに栄え、数々の古典文学の題材になっている長谷寺や初瀬の地名は、他県一県の文化財資源に匹敵する価値があります。また、わらしべ長者の逸話など全国に知れ渡っている物語りや伊勢街道としての交通の要所でもあり、長谷寺は大神神社、談山神社にも近く、隣の宇陀市にある室生寺のシャクナゲとともに美しい花々で人々を魅了してきました。

白河バイパスを完成させて、どのように魅力あふれるまちづくりをするのかの手腕が問われています。



基本方針と施策

景観まちづくり

- 桜馬場整備
- まちなみ修景・サイン整備
- 小道・水路・空き地の整備
- 参道・電柱の整備

歩くまちづくり

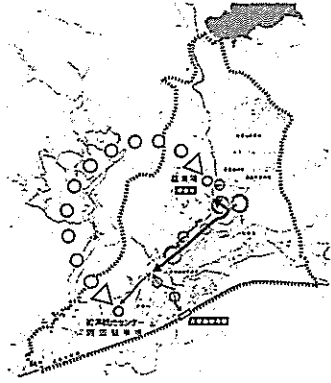
- 一般車両の流入抑制
- 誰もが利用できる公共交通等
- 歩く参道を活かす駐車場運用
- 歩くまちづくり社会実験

賑わい再生
定住促進

- 沿道の賑わいづくり
- 空家改修

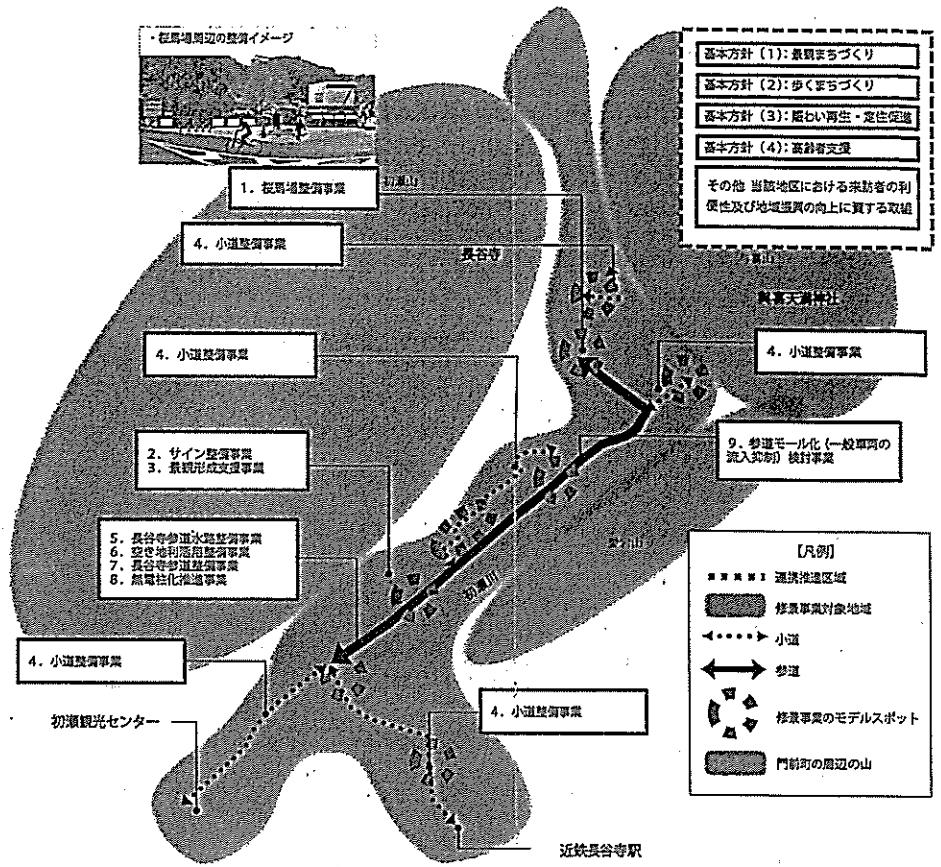
高齢者支援

- 高齢者が生活しやすい環境づくり



奈良県議会議員 和田恵治の思い

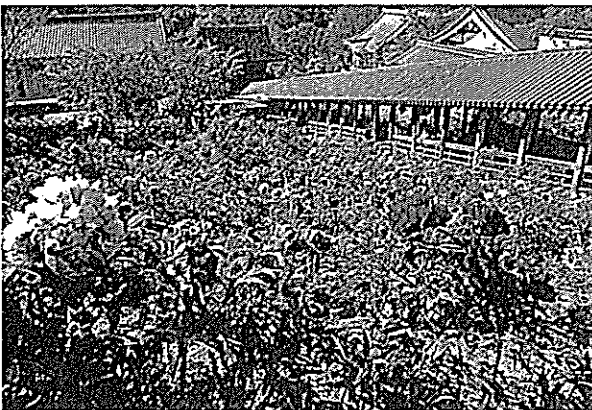
白河バイパスを通して、門前町を歩行者優先道路にします。観光バスが国道165号(初瀬街道)の参道に到着した場合、長谷寺の東まで行って待機。名阪国道針方面から長谷寺の東へ到着した観光バスは、国道165号の参道入り口の駐車場に回って待機する。東北の平泉のようにして長谷寺参道のまちに観光客が滞留する仕掛けをつくる。問題はいかにして魅力のある街並み景観づくりを行うかにかかっていると思います。



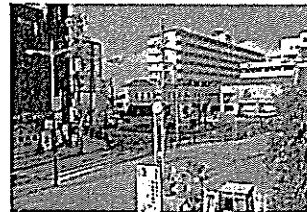
長谷寺を魅力的に情報発信



宗教施設としての重要性、歴史など日本を代表する大寺院として長谷寺は誰もが認めるどころです。十一面観音菩薩像へ続く回廊の美しさと荘厳さなどはもっと全国、世界に情報発信し、お寺全部が花々で埋もれてしまうくらいに徹底するなど、全国人々がぜひとも訪れたいと思うような不思議な魅力を作っていたきたいと思います。



桜井駅南口周辺の開発は旧ボウリング跡地や市営駐車場も活用



エルト桜井の前に駐車場を整備。1Fにはスーパーヤマトーなど3店舗が営業予定。旧ボウリング場跡と市営駐車場の連携が必要

桜井駅南口のまちづくりでは、エルト2階のスペースに平成31年5月に開設する子どもの遊び場については、プロポーザル募集により、㈱ボーネルンドに決定。同社は「子どもは、あそびを通して生きるために必要なすべてを学ぶ。生きる力を身につけ、心身ともに自立した大人へと成長した人同士が創る社会は、きっと人間らしい健やかなものになる。わたしたちボーネルンドは、このビジョンに向けて子どもに「あそび」を保障し、より豊かなあそびを生み出し続けたいと考えています。」という理念で遊び場を提供します。

また、地域住民の交流促進施設の指定管理はミズノスポーツサービス㈱が行うことが決定。エルトの東側には新たに駐車場を設置し、買い物客の利便性を図ります。

まちづくり全体としては、駅やエルト周辺の整備にとどまらず、旧商店街に隣接している旧ボウリング場跡地に居住空間を広げたり、市営の駐車場を有効利用して駅前の賑わいづくりを創出する必要があります。

ホテルとの連携で記紀万葉の情報発信基地も必要です。

第11号様式の5 (第5条関係)

政務活動記録簿 (広報紙の発行・発送等)						
					会派・議員名	和田恵治
年 月 日	平成31年3月27日					
表題と発行部数	広報誌「和田通信改題28号」21,400部					
対象者	桜井市内					
配布方法	折込み、手渡し					
発行目的	奈良県及び桜井市の取組みの報告を行い、意見・要望を求める					
按分率の説明	按分率50% 政務活動以外の記事が全体の50%を占めるため					
内容	和田恵治通信改題28号 2期8年の取組みと今後の施策 県と連携した桜井市の5つのまちづくりの進捗状況報告 地場産業の三輪そうめんを活性化し、財政の立て直しを図る 県条例の紹介 活動日誌(1月～3月)					
編集・制作・ 発送等に要した 経費	項目	支払先	金額	金額の積算	領収書番号	
	印刷・折込	マキムク 印刷	295,000円		81	
※ 50%充当 合計 295,000円×50%=147,500円						
備考	添付資料：広報誌「和田恵治通信改題28号」					

注 発行した広報紙を添付してください。

県会議員 2期8年 県政に対する 和田 恵治の訴え

私の県会議員活動を振り返りますと、2期8年、さまざまに取り組みがありました。「和田通信」で皆様には報告しておりますのでご理解頂いていると思います。しかし、3期目でやっとな充実した活動ができると確信するに至りました。

1期目は、桜井市の現状をふまえて、県会議員として奈良県が桜井市にどのような応援ができるのかを考え、そのパイプ作りや福祉、教育、災害対策などを着実に実施していくことに全力を注ぎました。

2期目は、県議員としての経験をさらに積ませて頂き、県政の仕組みや施策の問題点、さらに県行政の方

3期目が充実した活動

向性が分かかってきましたので、県に対して桜井市への財政応援や桜井のまちづくりなどへ県からの投資をしかりさせることなど、また園と県との関係と連携の重要さが痛いほど分かかってきましたことかから、その連携のあり方について県に要望してきました。

県議員で重要なことは、県民の要望や理想を実現させることではないといよいよ3期目の挑戦です。これまでの2期8年の経験をふまえて、福祉の充実、教育環境の整備はもちろん、奈良県民の暮らしの向上と桜井市のためにより一層の力を発揮させて頂きます。

減少社会への対応構築

奈良県の人口は、2015年に136万人あったものが10年後の2025年には126万人に減少します。10万人の減少の結果、人口が大きく減るのは15歳未満の年齢層で、年少人口はわずか14万人となり、老年人口は逆に3万人増えるのです。老年人口は42万人

奈良県議員
和田 恵治



和田恵治事務所
〒633-0067
桜井市大福241-10 2F&3F
Tel&Fax 0744-43-0686
http://www.wada-keiji.com/
Facebookもチェック

プロフィール

1949年3月 桜井市大福に生まれる
1967年3月 奈良商工高等学校卒業
1971年3月 天理大学外国語学部卒業
1979年4月 桜井市議員(初)
2011年4月 奈良県議員(初)
(一財)奈良人権・部落解放研究所 理事
(一社)うるわしの桜井をつくる会 常任理事
(一社)桜井市観光協会 常任理事
NPO法人コミュニケーション研究センター 理事
NPO法人桜井菜の花プロジェクト 役員
NPO法人奈良県生活福祉支援協会 副理事長
県議会関係 経済労働委員会委員長
南都・東部地域議員対策特別委員会委員
政策検討会議座長

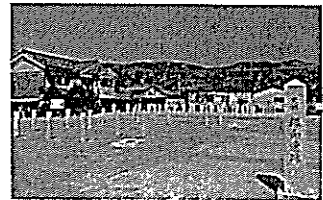
纏向遺跡全体を史跡公園に

国のほじまりを示す極めて重要な遺跡の発掘と説明を促進し文化資源として活用できる場所です。

桜井市の纏向遺跡は、ここから園が始まったと指し示すことができる場所です。

広大な遺跡の中で史跡指定がされた場所は、纏向古墳群の中の石塚古墳とホケノ山古墳が平成18年に、住居地域の中では旧纏向小学校跡地と3世紀の居館遺構(王宮?)が平成25年に史跡指定を受けていますが、ほんの一部にすぎません。

また発掘調査は全体の2%程度しか進んでなく早期の発掘で日本の園のほじまりがどのようなものであったのかを解明し、出土資料や研究成果を展示したり遺跡の内容を情報発信するガイダンス施設の建設が必要で、何処にいたのかを解明し、邪馬台国論争に決着をつけることで巨大な観光文化資源が桜井市に生まれます。



かを解明し、出土資料や研究成果を展示したり遺跡の内容を情報発信するガイダンス施設の建設が必要で、何処にいたのかを解明し、邪馬台国論争に決着をつけることで巨大な観光文化資源が桜井市に生まれます。

県と連携した賑いづくり5つのまちづくりを継続



長谷寺門前町のまちづくり

なくして、県施設を活用し桜井市を活性化する方法です。

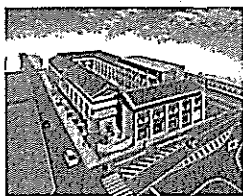
栗殿のまちづくりは旧奈良県総合庁舎と旧桜井土木事務所を活用、三輪参道は奈良県の管理道路を活用、大福駅周辺まちづくりは奈良県県営住宅の建て替え替えに伴うまちづくり、長谷寺参道まちづくりは県管理道路に伴うまちづくりです。

問題なのは桜井駅前

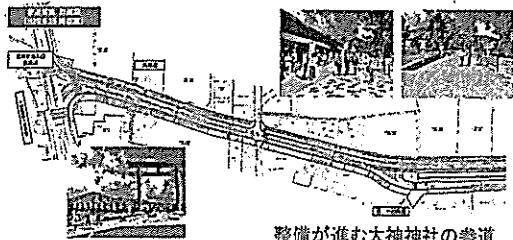
労働生産性の向上やイノベーションの推進。各種社会環境の改革と特に子育て環境の改善など人口減少社会へ適切に対応できる施策を講じて、この大きな問題に取り組みます。この大きな問題の答えが必要なのです。

また、阿部地区の県施設「なら食と農の魅力創造国際大学校」や宿泊施設を含むセミナーハウスは桜井市にとっても財産です。桜井市民に門戸開放し、市民が活用しやすいよう取り組みます。

県施設の整備に関しては、最大限の投資を県から行わせ、市民が活用しやすいようにすることが、私たち県議員の役割だと思っております。



大福の県営住宅のイメージ



整備が進む大神神社の参道

健康寿命日本一を目指す 荒井知事が提案説明 2月定例会

知事選・県議選を念頭に骨格予算501.6億9800万円の一般会計

奈良県議会定例会が2月19日から開会され、平成31年度予算や提出議案の要旨説明がありました。

知事提出議案説明として①健康寿命日本一を目指す、高齢者や障害者を含む誰もが健康やかに暮らせる地域づくり②県民が安全で安心して暮らしている奈良県づくり③奈良県経済の好循環を促進し、働きやすく、良く学べる地域社会をつくる④農・畜産・水産業の振興と農村活性化、及び林業・木材産業の振興と新たな森林環境

管理体制の構築⑤奈良が有する観光資源や歴史・文化資源を活用した県内への誘客の促進、観光産業の振興⑥県土マネジメントの推進と、住みよいまちづくり⑦南部・東部地域を頻りに訪れてもらえる、住み続けられる地域にする⑧県と市町村の連携・協働による「奈良モデル」の推進。の主要施策を説明しました。また、がん死亡率の減少や就業地別有効求人倍率の上昇などの成果も披露。目標が形になっていくことを説明しました。

財政の健全性の維持 国の補正予算を活用

また、議案説明では、地域経済を元気にするプロジェクトの継続や地域医療、介護、福祉の充実、観光振興、農林業の振興、南部・東部地域の振興、インフラ整備などを推進し、活用可能な財源を最も効果的・効率的な形で必要な施策に充てる。県債残高を減

また、議案説明では、地域経済を元気にするプロジェクトの継続や地域医療、介護、福祉の充実、観光振興、農林業の振興、南部・東部地域の振興、インフラ整備などを推進し、活用可能な財源を最も効果的・効率的な形で必要な施策に充てる。県債残高を減

健康寿命日本一となり 健康やかに暮らせる地域

健康寿命日本一を目指す、高齢者や障害者を含む誰もが健康やかに暮らせる地域づくりを行う上で、生活習慣病をはじめとする疾病の予防や早期発見、重症化の予防を目的として、食生活の改善や運動の習慣化のほか、がん検診や特定健診の受診促進などの取組を、市町村、国保事務支援センター、保険者等と連携・協働し、広く県内に定着させるとしました。

奈良県経済の好循環と良く学べる地域社会へ

奈良県経済の好循環を促進し、働きやすく、良く学べる地域社会をつくるために、企業誘致のさらなる促進を行うため、京奈和自動車道、西名阪自動車道など幹線道路周辺における産業用地を確保する取り組みや県産品のブランド力向上と販売促進、意欲ある企業家の支援などに取り組みむこと。

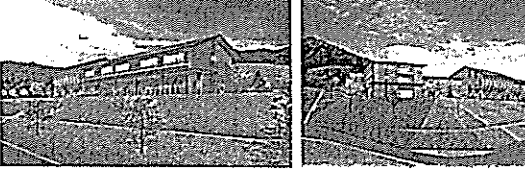
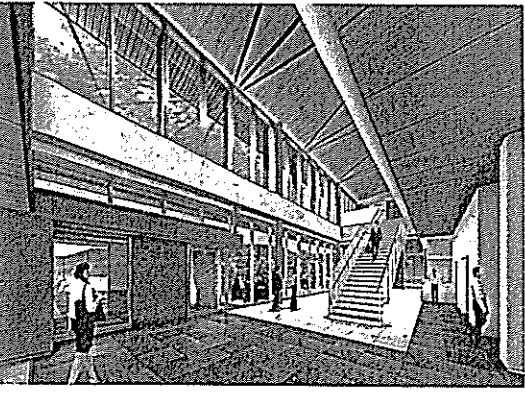
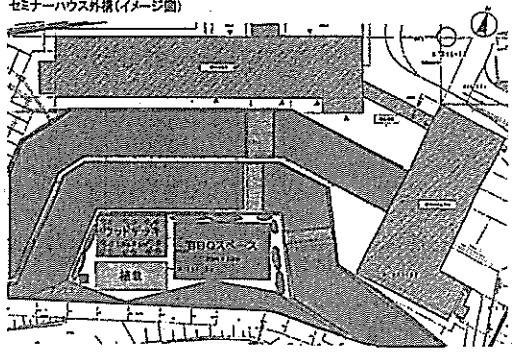
また、県立高等学校の耐震化や空調設備の整備、公立小中学校の空調設備を設置する市町村への緊急的な財政支援など、安全・安心な教育環境の整備を進めるとしました。

農・畜産・水産業の振興と農村活性化として、奈良の美味しい「食」を提供するため首都圏及び海外等への販路拡大や、意欲ある担い手への農地集積、耕作放棄地の解消による農地の有効活用、生産性の高い農業の育成などに取り組むほか、県にも贈与される「森林環境増進税」を活用し、市町村を支援する

また、子育て支援を充実させるため、市町村と連携し、保育所等の整備や保育士の確保・定着など保育の受け皿の拡大を図るとともに、未就学児の医療助成については、本年8月から、窓口での定額負担金の支払いのみで受診できる現物給付方式を導入することを説明しました。

セミナーハウスを建設し 国際会議も誘致 N A F I C の充実

県議和田が地元利用を促進



なら食と農の魅力創造国際
大学校にセミナーハウスを
建設。農業体験や国際会議
などを誘致します。

セミナーハウス外観(イメージ図)

食のトップランナーを育成している桜井市高家の「なら食と農の魅力創造国際大学校」(NAFIC)で、セミナーハウスを建設し、セミナーハウスを建設し、食のイベントや会議等を誘致して、奈良県の農業を進展させるとともに滞在型の農業体験を実施。農産物の知名度アップや観光の振興を図ります。

県では地元の利用を呼びかけており、地域の活性化に役立てることを予定しています。

イベント等の事業は、奈良県がシェフ育成の学校を全国で初めて設置したことを生かして、シェフやフードライターなど食のプロや、家族・学生を中心とした地域の人材・料理を創造発信するセミナー、コンテスト、ツアー商品を開発・展開(収益事業として実施)します。

また、セミナーハウスの運用にあたっては、交流事業やセミナーを開催する「セミナールーム」や参加者の宿泊に対応する「ゲストルーム」では使用料を徴収するなどの事業の自立、維持管理費等の捻出を図ります。

地元対応としては農村体験プログラムなど地域の農村資源を活用した事業を企画・展開し、施設の管理運営を行う指定管理者と協働して、宿泊機能と地域の農業資源の活用を組み合わせたプログラムを展開し、雇用の創出を図ります。

和田恵治が係わった 県条例を紹介します

奈良県部落差別の解消の 推進に関する条例(案) 3月1日に議案上程

奈良県議会政策検討
会議(座長・和田恵
治)は、今なお県内
において部落差別事
件が発生し、いわれなき
差別に苦しむ数多くの
人々がいることから、
平成28年に制定され
た「部落差別解消の推
進に関する法律」の趣旨
を踏まえて、議員提案
により、部落差別解消
に向けた教育や啓発を
なお一層進めていく新
たな条例として「奈良
県部落差別の解消の推
進に関する条例(案)
(案)」を議案上程し
ました。

政策検討会議の座長
として必要性を検討
し、平成31年2月8日
(金)から2月25日
(月)の18日間、(1)イ
ンターネット(2)閲覧①
県民情報センター②県
民お役立ち情報コー
ナー・奈良県産業会館
(大和高田市幸町)・
吉野町中央公民館(吉

推進に関する法律の理
念にのっとり、部落差
別は許されぬものであ
るとの認識の下にこ
れを解消することが重
要な課題であることに
鑑み、部落差別の解消
に関し、基本理念を定
め、県の責務を明らか
にし、及び施策を推進
するための基本的な計
画の策定等について定
めることにより、部落
差別の解消を推進し、
もって部落差別のない
社会を実現することを
目的とする」ことと
す。

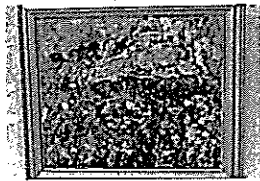
基本理念は「部落差
別の解消に関する施策
は、全ての県民が等し
く基本的な権利を享受
するに支障を及ぼさ
ないこととする」とし
て、公的機関はもち
ろん、企業や団体、個
人などすべての人を対
象にしています。
障害を持つ当事者の
請願を和田恵治等の5
人の議員が積極的に紹
介し、県議会で条例と
して可決されました。
この条例の施行もあ

この条例の目的は、
「現在もなお部落差別
が存在するとともに、
情報化の進展に伴って
部落差別に関する状況
の変化が生じているこ
とを踏まえ、全ての県
民に基本的な権利の享
有を保障する日本憲法
及び部落差別の解消の

て解消に関する施策を
講ずる責務を有するこ
と、知事は解消を推進
するための基本的な計
画を策定することや、
調査の実施、相談体制
の充実、教育及び啓
発、推進体制の充実な
どが条例の中に定めら
れる予定です。

奈良県障害のある人も やすい社会づくり条例

平成28年4月1日に
施行された条例です。
この条例では「何人も
障害を理由とする差別
をしてはならない」と
して、公的機関はもち
ろん、企業や団体、個
人などすべての人を対
象にしています。
障害を持つ当事者の
請願を和田恵治等の5
人の議員が積極的に紹
介し、県議会で条例と
して可決されました。
この条例の施行もあ



奈良県手話言語条例

議員提案による奈良
県手話言語条例は、平
成29年4月1日施行さ
れました。この条例は
県議会議員運営委員
副委員長として、県外
視察をした成果の一つ
として制定を提起しま
した。

ろう者とうろ者以外
の人たちが共生するこ
とのできる地域社会を
実現するために、手話
が言語であるという認
識に基づき、手話の普
及や手話を使用しやす
い環境の整備等に関す
る施策を推進し、県民
が聴覚障害の有無にか
かわらず、相互に人格
と個性を尊重し合いな
がら、安心して暮らす
ことができる社会の実
現に寄与することを目
的としています。

奈良県公契約条例

平成26年7月10日に
施行されました。目的
は適正な労働条件の確
保その他の社会的な価
値の実現及び向上を図
るなどで、県は公契約
を結ぶ相手側の適正な
選定と適正な履行の確
保を行うことが義務付
けられました。
まず法令を遵守して
いること、最低賃金以
上の支払いがあり、健
康保険・厚生年金保
険・雇用保険に係る被
保険者の届け出、労災

保険の保険関係成立の
届け出を求めること
と、社会的価値の評価
の項目として、①「奈
良県社員・シャイン職
場づくり推進企業」の
登録②障害者雇用③保
護観察対象者等雇用
があげられ、加点され
ます。また、賃金支払
いや社会保険加入の状
況を報告しないときや
虚偽の報告をしたとき
などは、過料や入札参
加停止、などのペナル
ティがあります。

奈良県小規模企業 振興基本条例

国では平成26年6月
に小規模企業振興基本
法が制定され、地域活
性化につながる奈良県
版の小規模企業振興基
本条例です。平成29年
4月1日に施行されま
した。
県議和田は、小規模
企業の事業の成長発展
や特色を生かした事業
の持続的な発展を促す
ための環境整備、企業
性化につながる奈良県
版の小規模企業振興基
本条例です。平成29年
4月1日に施行されま
した。
県議和田は、小規模
企業の事業の成長発展

出の促進、後継者等の
人材促進、女性、青
年、高齢者の創業促
進、経営に果敢に挑戦
する小規模事業者への
資金供給の多様化と円
滑化、働き方の改善な
どが明記されました。
県内の奈良県商工会
連合会、奈良県部落解
放企業連合会、中小企
業連合会などから2万
人以上の署名がある要
望でした。

和田恵治の 議員活動日誌

- | 1 月 | |
|-----|---|
| 5日 | 桜井市消防団出初式 |
| 6日 | 奈良県建築労働協同組合
桜井分会年次大会 |
| 7日 | 奈良県建築労働協同組合
三輪分会総会 |
| 8日 | 2019年連合奈良新春祝賀会 |
| 10日 | 2019年私労連「新春びらき」
自治会2019祝賀会 |
| 11日 | 市老連 新年会長会
桜井市商工会 新春懇談会 |
| 12日 | 中企連年賀の集い |
| 13日 | 母子連絡白百合会 |
| 14日 | 桜井市成人式 |
| 15日 | 等廻神社初詣会
2019年情報労連 新春のつどい |
| 16日 | 奈良県商工会連合会 新年懇談会 |
| 18日 | 桜井市職自治労協同会 |
| 20日 | 奈良県建築労働協同組合桜井支部
新年会・民間桜井支店新年賀交
換会・生活学校新年会、年賀の
の板井をつくる会 新春交流会 |
| 23日 | 三十日会新年会 |
| 24日 | 大福北区老人クラブ 新年会 |
| 27日 | 外山弥生会 新年会 |
| 31日 | 県内マスコミ懇談会 |
| 2 月 | |
| 1日 | 村井副知事と意見交換会 |
| 2日 | 三輪校区体育協同会 新年会 |
| 3日 | 鹿野町自治会連合会 |
| 6日 | 恵比寿神社社典 初えびす |
| 7日 | 県議会政策検討会議 |
| 8日 | 奈良ユニバーシティ議員団
浄土真宗との懇談会 |
| 9日 | 県原産品名活動
和田恵治県政報告会(織田農協) |
| 10日 | 桜井県民住宅起工式 |
| 11日 | お網まつり(重要文化財) |
| 14日 | 県議会南部・東部地域振興対策特
別委員会 |
| 15日 | そうめんプロジェクト会議 |
| 17日 | 多武峰区長会 |
| 24日 | 和歌山県道式野球大会(大和信用金
庫杯)・さくしゅ幼稚園発表会 |
| 25日 | 桜井市総合計画審議会・県議会代表質問
大和神社上棟式・県議会一般質問 |
| 27日 | 県議会政策検討会議・県議会南部
・東部地域振興対策特別委員会 |

30年度雇用状況報告書

会派・議員名 和田 恵治

①雇用者	氏名 住所 電話番号
②雇用形態	<input checked="" type="checkbox"/> 直接雇用 <input type="checkbox"/> 派遣等
③雇用期間	平成30年4月1日～平成31年3月31日
④職務内容	政務活動関連事務処理及び補助
⑤給料(賃金)	1,000円 (<input type="checkbox"/> 月給 <input type="checkbox"/> 日給 <input checked="" type="checkbox"/> 時給)
⑥按分率の考え方	<input type="checkbox"/> 勤務実績時間による場合 政務活動時間 (時間) / 政務活動 (時間) + その他業務 (時間) → 按分率 / <input type="checkbox"/> 勤務実績日数による場合 政務活動日数 (日) / 政務活動 (日) + その他業務 (日) → 按分率 / <input checked="" type="checkbox"/> 職務内容による場合 (政務活動のみ) → 按分率 1 / 1 (3月分 政務活動 + 選挙活動) → 1 / 2
⑦添付書類	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 <ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="checkbox"/> 雇用契約書 <input checked="" type="checkbox"/> 賃金台帳 <input type="checkbox"/> 租税関係書類 <input checked="" type="checkbox"/> 社会保険関係書類
⑧生計を一にする者の雇用でないことの申出	上記雇用者は以下に該当しないことを申し出ます。 <input checked="" type="checkbox"/> 同一生計者ではない。 <input checked="" type="checkbox"/> 自己、又は同一生計者が経営する法人の職員ではない。
⑨備考	

※雇用契約書・賃金台帳等、⑦の書類を添付してください。

雇用契約書

ふりがな	[REDACTED]	生年月日	[REDACTED]
氏名	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]
現住所	[REDACTED]	電話	[REDACTED]
下記の条件で契約します。			
雇用期間	2018年4月1日から 2019年3月31日まで		
雇用形態	正規職員 <input checked="" type="checkbox"/> パートタイム <input type="checkbox"/> 派遣職員 <input type="checkbox"/> その他 ()		
就業場所	奈良県桜井市大福 241-10 和田恵治議員事務所		
仕事内容	政務活動に係る補助		
就業時間 (休憩時間)	10:00~16:00 休憩1時間 週3日程度		
休日	<input checked="" type="checkbox"/> 土・日・祝日・年末及び年始・お盆・その他 ()		
休暇	年次有給休暇 <input type="checkbox"/> その他特別休暇 ()		
賃金	基本賃金 月給 円 日給 円 時間給 1,000 円 諸手当 通勤手当 円 手当 円 手当 円 賃金締切日 (毎月 末日) 賃金支払日 (毎月 末日) 賃金の支払方法 (<input checked="" type="checkbox"/> 現金払い <input type="checkbox"/> 振込) 賃金支払時の控除 (<input type="checkbox"/> 所得税 <input type="checkbox"/> 住民税 <input type="checkbox"/> 健康保険 <input type="checkbox"/> 介護保険 <input type="checkbox"/> 厚生年金 <input type="checkbox"/> 労災保険 <input type="checkbox"/> 雇用保険) 昇給 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 賞与 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無		
各種社会保険	<input checked="" type="checkbox"/> 労災保険 <input type="checkbox"/> 雇用保険 <input type="checkbox"/> 健康保険 <input type="checkbox"/> 厚お生年金保険 <input type="checkbox"/> その他		
契約書は2通作成し、双方が各1通を保管する。 <div style="text-align: right;">平成 30 年 4 月 1 日</div> <div style="text-align: center;"> 雇用者 和田 恵治 [REDACTED] 被雇用者 [REDACTED] [REDACTED] </div>			

政務活動補助業務賃金台帳(30年度)

【議員名 和田 恵治

雇用者氏名	住所		生年月日		性別	雇入年月日		2017/4/1							
	〒	市町村	年	月		年	月								
労働日数	4月 16	5月 16	6月 16	7月 16	8月 16	9月 16	10月 16	11月 16	12月 16	1月 16	2月 16	3月 16	賃与1 16	賃与2 16	合計 192
労働時間数	80	80	80	80	80	80	80	80	80	80	80	80	80	80	960
時間外労働															0
休日労働															0
深夜労働															0
基本給	80,000	80,000	80,000	80,000	80,000	80,000	80,000	80,000	80,000	80,000	80,000	80,000	80,000	80,000	960,000
時間外手当	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
通勤手当(課税)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
通勤手当(非課税)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
課税合計	80,000	80,000	80,000	80,000	80,000	80,000	80,000	80,000	80,000	80,000	80,000	80,000	80,000	80,000	960,000
非課税合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
総支給額	80,000	80,000	80,000	80,000	80,000	80,000	80,000	80,000	80,000	80,000	80,000	80,000	80,000	80,000	960,000
健康保険料	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
介護保険料	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
厚生年金保険料	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
雇用保険保険料	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
社会保険料合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
課税対象額	80,000	80,000	80,000	80,000	80,000	80,000	80,000	80,000	80,000	80,000	80,000	80,000	80,000	80,000	960,000
所得税	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
市町村民税	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
控除額合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
差引支給額	80,000	80,000	80,000	80,000	80,000	80,000	80,000	80,000	80,000	80,000	80,000	80,000	80,000	80,000	960,000
領収印	[Redacted]														

注 1 年度ごとに作成し、雇用状況報告書とともに議長へ提出することとする。

30年度雇用状況報告書

会派・議員名 和田 恵治

①雇用者	氏名 住所 電話番号
②雇用形態	<input checked="" type="checkbox"/> 直接雇用 <input type="checkbox"/> 派遣等
③雇用期間	平成30年4月1日～平成31年3月31日
④職務内容	政務活動関連事務処理及び補助
⑤給料(賃金)	80,000円 (<input checked="" type="checkbox"/> 月給 <input type="checkbox"/> 日給 <input type="checkbox"/> 時給)
⑥按分率の考え方	<input type="checkbox"/> 勤務実績時間による場合 政務活動時間(時間) / 政務活動(時間) + その他業務(時間) → 按分率 / <input type="checkbox"/> 勤務実績日数による場合 政務活動日数(日) / 政務活動(日) + その他業務(日) → 按分率 / <input checked="" type="checkbox"/> 職務内容による場合 (政務活動のみ) → 按分率 1 / 1 (3月分 政務活動+選挙活動) → 1 / 2
⑦添付書類	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 <ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="checkbox"/>雇用契約書 <input checked="" type="checkbox"/>賃金台帳 <input type="checkbox"/>租税関係書類 <input checked="" type="checkbox"/>社会保険関係書類
⑧生計を一にする者の雇用でないことの申出	上記雇用者は以下に該当しないことを申し出ます。 <input checked="" type="checkbox"/> 同一生計者ではない。 <input checked="" type="checkbox"/> 自己、又は同一生計者が経営する法人の職員ではない。
⑨備考	

※雇用契約書・賃金台帳等、⑦の書類を添付してください。

雇用契約書

ふりがな	[Redacted]	生年月日	[Redacted]
氏名	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]
現住所	電話 [Redacted]	[Redacted]	[Redacted]
下記の条件で契約します。			
雇用期間	2018年4月1日から 2019年3月31日まで		
雇用形態	正規職員 <input type="checkbox"/> パートタイム <input type="checkbox"/> 派遣職員 <input type="checkbox"/> その他(契約雇用) <input type="checkbox"/>		
就業場所	奈良県桜井市大福 241-10 和田恵治議員事務所		
仕事内容	政務活動に係る補助		
就業時間 (休憩時間)	自由出勤形態 (1日8時間労働)		
休日	土・日・祝日・年末及び年始・お盆・その他(不定期)		
休暇	年次有給休暇 <input type="checkbox"/> その他特別休暇 () <input type="checkbox"/>		
賃金	基本賃金 月給 80,000 円 日給 円 時間給 円 諸手当 通勤手当 円 手当 円 手当 円 賃金締切日(毎月 末日) 賃金支払日(毎月 末日) 賃金の支払方法 (<input checked="" type="checkbox"/> 現金払い <input type="checkbox"/> 振込) 賃金支払時の控除 (<input type="checkbox"/> 所得税 <input type="checkbox"/> 住民税 <input type="checkbox"/> 健康保険 <input type="checkbox"/> 介護保険 <input type="checkbox"/> 厚生年金 <input type="checkbox"/> 労災保険 <input type="checkbox"/> 雇用保険)		
	昇給 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 賞与 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無		
各種社会保険	<input checked="" type="checkbox"/> 労災保険 <input type="checkbox"/> 雇用保険 <input type="checkbox"/> 健康保険 <input type="checkbox"/> 厚生年金保険 <input type="checkbox"/> その他		
契約書は2通作成し、双方が各1通を保管する。			
平成 30 年 4 月 1 日			
雇用者 和田 恵治			
被雇用者 [Redacted]			

政務活動補助業務賃金台帳(30年度)

【議員名 和田 恵治

雇用者氏名	住所	生年月日												性別	雇入年月日	2017/4/1
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月			
労働日数	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	96
労働時間数																0
時間外労働																0
休日労働																0
深夜労働																0
基本給	80,000	80,000	80,000	80,000	80,000	80,000	80,000	80,000	80,000	80,000	80,000	80,000	80,000	80,000	80,000	960,000
時間外手当	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
通勤手当(課税)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
通勤手当(非課税)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
課税合計	80,000	80,000	80,000	80,000	80,000	80,000	80,000	80,000	80,000	80,000	80,000	80,000	80,000	80,000	80,000	960,000
非課税合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
総支給額	80,000	80,000	80,000	80,000	80,000	80,000	80,000	80,000	80,000	80,000	80,000	80,000	80,000	80,000	80,000	960,000
健康保険料	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
介護保険料	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
厚生年金保険料	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
雇用保険保険料	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
社会保険料合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
課税対象額	80,000	80,000	80,000	80,000	80,000	80,000	80,000	80,000	80,000	80,000	80,000	80,000	80,000	80,000	80,000	960,000
所得税	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
市町村民税	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
控除額合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
差引支給額	80,000	80,000	80,000	80,000	80,000	80,000	80,000	80,000	80,000	80,000	80,000	80,000	80,000	80,000	80,000	960,000
領収印	[Redacted]															

注 1 年度ごとに作成し、雇用状況報告書とともに議長へ提出することとする。

労働（労災）保険料納付済証明書

所在地 奈良県桜井市大福 241-10
名称 和田恵治事務所
事業主名 和田 恵治 様

労働保険番号	府	県	所掌	管轄	基 幹 番 号						枝 番 号		
	2	9	3	0	3	9	3	4	0	7	0	5	3

上記労働保険番号の労働（労災）保険料について、証明日現在において法定納期限到来分まで納付済みであることを証明します。

平成31年4月15日

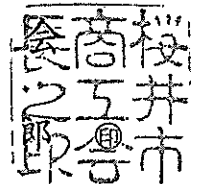
歳入徴収官 奈良労働局長

桜井労働基準監督署長

労働保険事務組合名称

桜井市商工

代表者名会長福井達



30年度事務所状況報告書

会派・議員名 和田 恵治

①政務活動事務所	<input type="checkbox"/> 自宅 <input checked="" type="checkbox"/> 自宅以外
②所在地	住所 奈良県桜井市大福 241-10 3階建て 280.17 m ² のうち 2-3階 167.67 m ² 電話 0744-43-0686
③他用途との兼用	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 後援会の事務所 <input type="checkbox"/> 政党事務所 <input type="checkbox"/> その他 ()
④所有区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自己又は配偶者、3親等以内の親族、同一生計者の所有 <input type="checkbox"/> 賃貸物件 (賃貸借契約先所有者 <input type="checkbox"/> 第三者 <input type="checkbox"/> 自己・同一生計者が経営する法人 (登記簿の目的に不動産の賃貸有) <input type="checkbox"/> 自己・同一生計者が経営する法人 (登記簿の目的に不動産の賃貸無)
⑤按分率の考え方	<input checked="" type="checkbox"/> 使用実態 (使用面積又は使用時間による) <input checked="" type="checkbox"/> 事務所全体面積 280.17 m ² (a) うち政務活動使用面積 167.67 m ² (b) <input type="checkbox"/> 事務所使用時間 時間(a) うち政務活動使用時間 時間(b) (b) / (a) = 167.67 / 280.17 → 按分率 59.8%
⑥事務所賃借料の計上	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 按分率 / (按分率の考え方:)
⑦駐車場代の計上	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 来客専用 按分率 1 / 2 <input type="checkbox"/> 来客兼用 按分率 / (按分率の考え方: 後援会と按分)
⑧光熱水費・維持管理費の計上	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 按分率 59.8% (按分率の考え方: 1棟のうち、後援会との使用面積割合)
⑨備考	2・3階はすべて政務活動事務所として使用 後援会事務所は1階で、駐車場は後援会と兼用。 電話1回線契約2番号取得のため1/2按分 光熱費は、1棟のうち使用面積割合にて59.8%の按分 事務用品等は2・3階の政務活動事務所のみで使用

注 賃貸借 (事務所・駐車場) の場合は、別途契約書を添付してください。